

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2025年

1月号

Vol.72 No.834

巻頭言

年頭所感「継往開来」 江田哲男

会 告

2025年「新春のつどい」のご案内
2024年度城東支部研修会
第155回日暮里塾ワンコインセミナー
第19回ペイシェントケア学術大会
2024年度城南支部研修会
2024年度第1回災害対策研修会

お知らせ

2024年度第13地区研修会
2024年度第6地区研修会
2024年度第4地区研修会

表 彰

東京都功労者表彰

叙 勲

瑞宝双光章

新春企画

2025年新春座談会
研修会等申込書
登録事項変更届



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

X線CT装置

NAEOTOM Alpha with Quantum Technology CT redefined.

www.siemens-healthineers.com/jp

The world's first photon-counting CT

イノベーションにより技術が飛躍的に進歩すると、常識が変化することがあります。
世界初*のフォトンカウンティングCTの登場はまさにその瞬間と言えます。
フォトンカウンティング検出器を採用したNAEOTOM Alphaは、CTの定義を一新しました。
QuantaMax detectorは先進的な直接信号変換をベースとして開発されており、
より多角的に臨床情報を得ることが可能になります。

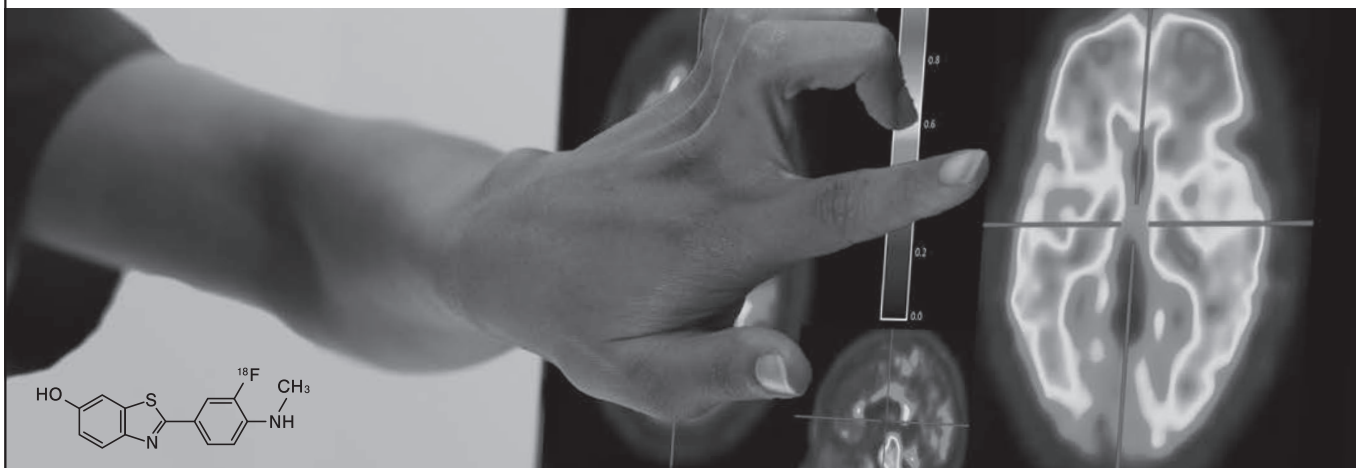
*2022年2月 自社調べ



SIEMENS
Healthineers

全身用X線CT診断装置 ネオトム Alpha 認証番号: 304AIBZX00004000

nihon
medi+physics



放射性医薬品・脳疾患診断薬

薬価基準収載

処方箋医薬品^注

ビザミル[®] 静注

放射性医薬品基準フルテマモル (¹⁸F) 注射液

®:登録商標

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。



製造販売元

日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

文献請求先及び問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで
PET検査について紹介しています。

<https://www.nmp.co.jp>

2024年8月改訂

新年 賀 謹

2025年 元旦

本年もよろしくお願い申し上げます

顧問	顧問	監事	監事	副会長	副会長	副会長	会長
篠原 健一	中澤 靖夫	野田 扇三郎	白木 尚	浅沼 雅康	関 真一	野口 幸作	江田 哲男

委員長 (第六地区)	委員長 (第五地区)	委員長 (第四地区)	理事 (第三地区)	理事 (第二地区)	委員長 (第一地区)	理事 (災害対策)	理事 (情報)	理事 (厚生調査)	理事 (広報)	理事 (学術)	理事 (編集)	理事 (渉外)	理事 (経理)	業務執行 (教育)	業務執行 (庶務)	業務執行 (総務)
伊佐 理嘉	北野 りえ	松田 敏治	布川 嘉信	島田 諭	増田 祥代	渡辺 靖志	竹安 直行	今尾 仁	江積 孝之	市川 篤志	浅沼 雅康	高野 修彰	石田 雅彦	市川 重司	木暮 陽介	鈴木 雄一
	事務局	委員長 (入会促進)	委員長 (放射線相談)	委員長 (定款諸規程等検討)	委員長 (国際)	委員長 (表彰)	理事 (第十六地区)	委員長 (第十五地区)	委員長 (第十四地区)	理事 (第十三地区)	委員長 (第十二地区)	委員長 (第十一地区)	委員長 (第十地区)	委員長 (第九地区)	理事 (第八地区)	委員長 (第七地区)
	引地 春枝	中尾 愛	笹沼 和智	島田 諭	桐 洋介	黒澤 昭典	関谷 薫	池田 麻依	長谷川 浩章	鮎川 幸司	吉村 良	名古 安伸	澤田 恒久	西郷 洋子	大津 元春	富丸 佳一

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心して安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2025
JAN

CONTENTS

目次

謹賀新年	1
診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 年頭所感「継往開来」	会長 江田哲男 4
会告1 2025年「新春のつどい」のご案内	5
会告2 2024年度城東支部研修会	城東支部委員会 6
会告3 第155回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会 7
会告4 第19回ペイシエントケア学術大会	学術委員会 8
会告5 2024年度城南支部研修会	城南支部委員会 10
会告6 2024年度第1回災害対策研修会	災害対策委員会 11
会告7 第156回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会 12
会告8 第157回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 13
会告9 第22回ウインターセミナー	学術委員会 14
会告10 2024年度多摩支部研修会	多摩支部委員会 15
会告11 第13回MRI集中講習会	教育委員会 16
会告12 2024年度城西支部研修会	城西支部委員会 17
会告13 第158回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会 18
会告14 第78回定期総会での表彰(勤続20年)について	渉外委員会 19
お知らせ1 2024年度第13地区研修会	第13地区委員会 20
お知らせ2 2024年度第6地区研修会	第6地区委員会 21
お知らせ3 2024年度第4地区研修会	第4地区委員会 22
お知らせ4 2024年度第12地区研修会	第12地区委員会 23
お知らせ5 2024年度第16地区研修会	第16地区委員会 24
お知らせ6 2024年度第9地区研修会	第9地区委員会 25
お知らせ7 2024年度第2地区研修会	第2地区委員会 26
お知らせ8 2024年度第15地区研修会	第15地区委員会 27
お知らせ9 2024年度第8地区研修会	第8地区委員会 28
お知らせ10 2024年度第11地区研修会	第11地区委員会 29
お知らせ11 会費納入のお願い	30
表彰 東京都功労者表彰	32
叙 勲 瑞宝双光章	34
新春企画 2025年新春座談会	36
パイプライン	
・超音波画像研究会 第266回エコーセミナー	48
・日本診療放射線技師連盟ニュース(2024 No.11)	49
2024年4月～11月期会員動向	50
2024年度第8回理事会報告	51
研修会等申込書	58
登録事項変更届	59

Column & Information

・東放技入会無料のお知らせ	31
・求人情報	50
・学術講演会・研修会等の開催予定	57

巻頭言



「継往開来」

会長 江田哲男

2025年を迎え、皆様には清々しい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、昨年は本会の事業に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで、今期の事業も順調に進行しており、心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束により、対面での事業活動が再び活発に展開されました。一方で、コロナ禍を契機に定着したWeb方式の研修会は、会員の皆様にとって利便性が高く、また本会の運営経費の削減にも寄与しています。この方式のおかげで、研修会や会議の開催回数を減らすことなく、多様な事業活動を継続的に実施することができました。

今後も対面とオンラインを組み合わせながら、より活発な技師会活動を目指してまいります。

会長として就任してから、早くも2年が経過致しました。振り返れば、多くの課題や反省点がございましたが、会員の皆様のご支援のおかげで、大きな問題もなく事業を進めることができました。特に会員数に関しては、目標である3,000人に向け着実に前進しており、昨年11月末時点で2,811名と、前年の約2,600名から大幅に増加しています。この成果は、ひとえに皆様が本会の事業に関心を寄せてくださり、共に取り組んでいただけた結果であり、心より感謝申し上げます。

昨年の年頭所感では、「戮力協心（りくりよくきょうしん）」をテーマに掲げ、皆様と心をつなげて目標達成を目指す姿勢を共有しました。昨年6月には役員の改選も行われ、新体制のもと、一層強固でまとまりのある基盤が整ったと実感しています。今年もこの体制を礎に、さらなる発展を目指して邁進してまいります。

特に本年は、これまでの事業を振り返り、マンネリ化している部分の見直しを図りたいと考えています。「継承」と「継続」の重要性を日々感じる中で、それらの中に潜む「新鮮さの欠如」に目を向け、新たな価値を創造していくことが必要です。私自身を含め、皆様と共に新しい企画や取り組みを積極的に検討し、未来を切り拓いていきたいと思えます。

新しい年のスタートにあたり、皆様も今年の目標を立てていらっしゃるかと思います。目標を持つことは、成長への第一歩です。本会も皆様と共に目標をしっかりと定め、これまで築き上げてきた事業を「継承」しつつ、「継往開来（けいおうかいらい）」の精神で新たな事業に挑戦してまいります。

最後に、本年も皆様と「楽しみながら」技師会活動を進めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2025年「新春のつどい」のご案内

年初めの恒例となっております、本会主催による「新春のつどい」開催のご案内を申し上げます。新春を迎えるにあたり、日頃ご交誼を頂いております放射線関連・学校教育機構・関係諸団体・本技師会各位が一堂に会し、新年の抱負を語り、また、情報交換の場としてご歓談いただき、親交を深めていただきたいと存じます。お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

開催日時：2025年1月10日（金）19時00分～20時30分

（受付開始18時30分より）

開催場所：「アートホテル日暮里ラングウッド」 2階 鳳凰の間

荒川区東日暮里5-50-5 Tel 03-3803-1234

交通：JR日暮里駅南口下車 徒歩約1分

- 次第：1) 開会のことば
2) 会長挨拶
3) 来賓挨拶
4) 乾杯
5) 懇親（名刺交換）
6) 閉会のことば



会費：5,000円

新卒かつ新入会員※の方は無料です。奮ってご参加ください。

問い合わせ：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

会 告 2

2024年度 城東支部研修会（Web開催）

テーマ「ご存じですか？ 担当した検査の診療報酬や保険点数を」

講師：東京大学医学部附属病院 鈴木 雄一 氏

本年度の城東支部研修会は検査における診療報酬や保険点数に関して研修を行います。

点数本など見てみると【画像診断の費用は、第1節、第2節若しくは第3節の各区分の所定点数により、又は第1節、第2節若しくは第3節の各区分の所定点数及び第4節の各区分の所定点数を合算した点数により算定する。】などと記載されています。あまり聞きなれない言葉が羅列しており、要するに…??だと思います。

テーマは「ご存じですか？ 担当した検査の診療報酬や保険点数を」として、分かりやすく講義していただくこととしました。知ってなきゃいけないけど、聞いておきたいなどがあると思います。ぜひともこの機会に直接質問してください。皆さまのご参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをダウンロードのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年1月16日（木）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：100名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年1月9日（木）

問い合わせ：城東支部委員会 E-Mail：shibu_jyoutou@tart.jp

第1地区委員長 増田祥代

第2地区委員長（城東支部委員長） 島田 諭

第7地区委員長 富丸佳一

第14地区委員長 長谷川浩章

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第155回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「基本を振り返るーCT造影検査における造影理論ー」

講師：帝京大学 医療技術学部 小林 隆幸 氏

今回はCT造影検査における造影理論を取り上げました。

CT検査は多くの方が担当し、造影検査件数も多いかと思います。造影剤を使用する場合は、いろいろな考え方があるのはご存じかと思います。

今回は基本に戻り再確認も含めて、造影理論について勉強したいと思います。多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時：2025年1月23日（木）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：30名（先着順）

受 講 料：会員 500円、非会員 3,000円

新卒かつ新入会員^{*}、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年1月22日（水）

問い合わせ：教育委員長 市川重司 E-Mail：koyoiku@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

会 告 4

第19回ペイシェントケア学術大会 テーマ「これからの未来」

今回のペイシェントケア学術大会は「これからの未来」というテーマを掲げ、従来の形式にとらわれず、いま求められていることに着目し企画をしました。未来に向けた企画などを準備し、診療放射線技師や患者の利益と満足度を高めるために開催致します。

本大会を通じて、多くの方々と情報を共有したいと考えております。ぜひ参加登録をお願い致します。

記

日 時：2025年1月25日（土）10時00分～16時00分

場 所：一橋大学一橋講堂 2階中会議室1～4室

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

ア ク セ ス：東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅（A8・A9 出口）徒歩4分
東京メトロ東西線 竹橋駅（1b 出口）徒歩4分

定 員：200名（当日参加は可能ですが、事前参加登録をお願い致します）

受 講 料：診療放射線技師 1,000円

新卒かつ新入会員*・一般・学生・その他医療従事者 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年1月25日（土）

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

～ プログラム ～

9:30～ 受付開始

10:00～10:15 開 会 式

【挨拶】 第19回ペイシェントケア学術大会大会長 江田 哲男
(公益社団法人東京都診療放射線技師会 会長)

10:15～12:15 一般演題

【座長】 公益社団法人東京都診療放射線技師会 学術委員

12:30～13:15 共催セミナー

「画像診断AIの活用による早期発見への取り組み」

【講師】 キヤノンメディカルシステムズ株式会社 梅田 祐司

【座長】 公益社団法人東京都診療放射線技師会 学術委員長 市川 篤志

13:30～14:10 基調講演

「放射線相談の取り組み」

放射線相談委員会とは？

【講師】 日本医科大学多摩永山病院 笹沼 和智

放射線相談Q & Aについて

【講師】 独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 立木 崇文

【座長】 公益社団法人東京都診療放射線技師会 副会長 野口 幸作

14:15～14:50 特別講演

「震災時の患者さんの安全確保と避難について」

【講師】 東京大学医学部附属病院 浅野 翔太

【座長】 公益社団法人東京都診療放射線技師会 災害対策委員

渡辺 靖志 安藤 猛晴

15:00～15:50 都民公開講座

「私が漫画『ラジエーションハウス』を作りたかったワケ ～想いを社会に届けるメソッド～」

【講師】 福島県立医科大学 保健科学部 診療放射線科学科 准教授

五月女 康作

【座長】 第19回ペイシェントケア学術大会大会長 江田 哲男

15:50～16:00 閉 会 式

2024年度 城南支部研修会

プロフェッショナルに聞く

テーマ「明日から使いたいCT/MRI撮像の工夫」

講師：社会医療法人石心会 川崎幸病院 中 孝文 氏、石田 和史 氏

本年度の城南支部研修会は第8地区が担当です。この度はCT/MRI分野で国内外の学会や各研究会などで活躍されております、社会医療法人石心会川崎幸病院の中孝文氏と石田和文氏を講師としてお招きし、華やかなご活躍・明日から使いたくなる撮像の工夫・得意とする分野・これからの診療放射線技師としての在り方をテーマとしてご教授いただきます。今回の講師のお二人はCT/MRIの雄であり同じ壇上に上がることは稀であります。対面での開催と致します。会場は東京23区の南西部にあります。少々遠方となる方もいらっしゃるかと思いますが、多くの方々のご参加をお待ちしております。

記

- 日 時：2025年2月1日（土）15時00分～17時30分
- 場 所：東邦大学医療センター大森病院 臨床講堂（5号館地下1階）
東京都大田区大森西6-11-1
- ア ク セ ス：京浜急行線 梅屋敷駅から徒歩約7分（各駅停車にご乗車ください）
JR蒲田駅からバス約4分（東口2番バス乗り場から「大森駅」行きに乗車「東邦大学」下車）
JR大森駅からバス約12分（東口1番バス乗り場から「蒲田駅」行きに乗車「東邦大学」下車）
- 定 員：50名（先着順）
- 受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円
新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料
- 申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
※研修会後に情報交換会（予定）を開催致します。参加希望の方は参加申し込みフォーム最下段の通信欄に情報交換会参加希望と入力をお願い致します。（予算：4,000円～5,000円）
- 申込締切日：2025年1月31日（金）
- 問い合わせ：城南支部委員長 大津元春 E-Mail：shibu_jyounan@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



広域地図



周辺地図

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

2024年度 第1回災害対策研修会

テーマ「緊急被ばく医療研修会 ～3.11を風化させないために～」

講師：災害対策委員会委員

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故にあたり、公益社団法人東京都診療放射線技師会では、発災直後の被災地におけるサーベイ活動、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動など、放射線専門の職能団体として活動を行いました。これらの活動・経験を語り継ぎ風化させないために、また、サーベイヤの育成を継続するため本年度も研修会を企画しました。

本年度は、放射性物質汚染傷病者、もしくは汚染の可能性がある傷病者を自施設で受け入れるために必要なスキル、主に施設養生をテーマに実施します。皆さまのご参加をお待ちしております。

プログラム

～受入れの基礎を学ぼう～

1. 緊急被ばく医療（原子力災害時医療）について
2. 養生＋サーベイ方法（講義）
3. 養生＋サーベイ方法（実習）

記

日 時：2025年2月11日（火・祝）13時00分～16時30分（受付開始12時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：20名（先着順）

受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円（当日徴収）

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料（←地区は任意）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育3.0カウント付与

申込締切日：2025年2月4日（火）

問い合わせ：災害対策委員長 E-Mail：saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。



第156回日暮里塾ワンコインセミナー テーマ「基本を振り返るーDICOMって?ー」

講師：独立行政法人国立国際医療研究センター 宇津野 俊充 氏

DICOM? と聞くと、画像の拡張子? のように感じている方もいるかと思います。医療データ通信の国際標準規格という、「そうですがよく理解しておりません」という方もいるかと思います。

今回はそのようなDICOMについて、分かりやすく解説していただき、理解を深めたいと思います。
多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時：2025年2月13日（木）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：30名（先着順）

受 講 料：会員 500円、非会員 3,000円

新卒かつ新入会員^{*}、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年2月12日（水）

問い合わせ：教育委員長 市川重司 E-Mail：kyoiku@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

第157回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催）

テーマ「学術が選んだ発表演題」

発表演題：10演題選定中（※演題決定次第HPにて発表致します）

恒例となりました「学術委員が選んだ発表演題」をWeb開催致します。

本年度開催された関東甲信越診療放射線技師学術大会、第40回日本診療放射線技師学術大会（第1回日本放射線医療技術学術大会）において発表された演題の中から学術委員会が協議し10演題選出させていただきます。学会に参加できなかった方、参加したけれど聞けなかった方、もう一度聞きたい方、多くの方の参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをダウンロードのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年2月14日（金）18時30分～20時00分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：定員人数を設けません

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年2月7日（金）

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第22回ウインターセミナー

テーマ「発見した場合に報告すべき症例 画像ノミカタシリーズ ～体幹部編～」

講師：シーメンスヘルスケア株式会社 鈴木 和明 氏
 公立福生病院 山中 真悟 氏
 北里大学北里研究所病院 尾崎 匡邦 氏
 昭和大学藤が丘病院 中井 雄一 氏

サマーセミナーに続き今回は、「画像ノミカタ」体幹部編を開催します。若手の方、移動したばかりの方を対象にした分かりやすいセミナーです。日常業務の中で“この画像ってどうなのだろう？”、“誰かに聞いてみたい”と思ったことはありませんか。基礎から臨床応用まで業務に沿った内容で講義していただきます。

記

日 時：2025年2月15日（土）14時00分～17時00分（受付開始13時30分～）

場 所：JR東京総合病院 e棟4階会議室

〒151-8528 東京都渋谷区代々木2-1-3

ア ク セ ス：JR新宿駅南改札・甲州街道改札・新南改札より徒歩5分

小田急線 新宿駅南口改札より徒歩5分

京王新線 新宿駅・都営大江戸線新宿駅「A1」出口より徒歩1分

定 員：100名（先着順）

受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円

新卒かつ新入会員* 一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年2月15日（土）

※当日参加も可能です。

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

2024年度 多摩支部研修会（Web開催）

テーマ「薬剤師に聞く！ 薬剤と放射線診断の関わり」

講師：公立昭和病院 薬剤師 前田 匡輝 氏

皆さまは普段の業務で薬剤との関わりがどの程度あるか、考えたことはありますか？
造影剤、バリウム、抗がん剤、鎮静薬など、さまざまなものが診療放射線技師の業務に密接に関わっています。

それと同じように、薬剤の業務にも放射線診断が欠かせません。例えば、治療効果判定の目的に、病棟ポータブルでの胸部XP、化学療法後の全身CTなどを撮影していますが、薬剤師は撮影された画像と過去画像を比較し、薬剤の再調整や変更の相談を医師とおこない、薬剤業務において大きく役立っているのです。

しかし私たちは、薬剤の名前は知っているけど薬効はなんだっけ？ 使用するのに禁忌の病名はなんだっけ？ など、あやふやに理解していることが多いのではないのでしょうか。

今回は薬剤師の方から、診療放射線技師に知っておいてほしい薬剤の基礎的な知識や効果、副作用などを詳しくお話ししていただきます。われわれの撮影した画像がいかに必要とされ、治療に活用されているかを知る貴重な時間になるはずです。新人の方からベテランの方まで、技術の会得や知識の再確認のためにも、皆さまの参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをダウンロードのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年2月27日（木）19時00分～20時00分

開催方式：Web開催（Microsoft Teams）

定 員：100名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年2月24日（月）

問い合わせ：多摩支部委員会 E-Mail：shibu_tama@tart.jp

第13地区委員長（多摩支部委員長） 鮎川幸司

第12地区委員長 吉村 良

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第13回MRI集中講習会

下記の要領にて第13回MRI集中講習会を開催致します。

基礎から臨床まで広範囲の講義を予定し、磁気共鳴（MR）専門技術者試験の問題解説なども含み行います。

講義には本講習会用に出版した「MRI集中講習（改定版）」をテキストとして使用します。（参加者には当日無料配布）

多くの方の参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

10:00～11:30	【基本測定】 スライス厚測定、T1、T2測定法、均一性試験方法、SNR／CNRの測定方法	東京慈恵会医科大学附属病院 北川 久
12:15～13:45	【各論】 原理（基礎）、パルスシーケンスおよび高速撮像法（試験対策含む）	東京医科大学病院 林 直弥
13:55～15:25	【各論】 アーチファクト、脂肪抑制（試験対策含む）	昭和大学藤が丘病院 秋葉 泰紀
15:30～17:00	【各論】 MR安全管理、臨床（試験対策含む）	国立国際医療研究センター病院 石田 貴廣

記

日 時：2025年3月2日（日）10時00分～17時00分（受付開始9時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：40名（先着順）

受 講 料：会員 3,000円、非会員 10,000円

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年2月28日（金）

問い合わせ：教育委員長 市川重司 E-Mail：kyoiku@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2024年度 城西支部研修会（Web開催）

テーマ「診療放射線技師として必要な検査データの判読法」 ～画像診断に必要な臨床検査データを読み解く～

講師：社会医療法人財団 聖フランシスコ会 姫路メディカルシミュレーションセンターひめマリア
エグゼクティブマネージャー 田中 宏治 氏（臨床検査技師）

造影検査の際に必ず確認する腎機能、造影検査が可能な値を各病院で設定し造影の可否を決めていると思いますが、数値の高低だけの確認で造影検査をしていませんか？

今回はそんな腎機能についてだけでなく、検査をするにあたり知っておくべき検査データの見方や、知っておきたい数値にまつわる知識を解説していただきます。

CTやMRIだけでなく透視検査やカテーテル検査などの、検査や治療をするにあたっても必ず実施する採血。ラボデータを見ることができる目を養っておくと、臨床所見と併せて疑わしい病気をイメージしながら撮影した画像を見ることができるようになります。

診療放射線技師の勉強会では、なかなか学ぶことのできない内容ではないかと思います。検査を始めたばかりの方から、ベテラン技師の方まで皆さまの参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをダウンロードのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年3月7日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時45分～）

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：100名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年3月3日（月）

問い合わせ：城西支部委員会 E-Mail：shibu_jyousai@tart.jp

第3地区委員長（支部委員長） 布川嘉信

第9地区委員長 西郷洋子

第10地区委員長 澤田恒久

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第158回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「緊急企画 タスク・シフト/シェア～現場からの報告～」

下記の要領にて第158回日暮里塾ワンコインセミナーを開催致します。

2021年に法改正がされ、告示研修が行われております。今回は、修了者が各施設でタスク・シフト/シェアにどのように取り組んでいるか、状況報告をしていただく企画と致しました。

多くの方の参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

15:00 「CT/MRI業務について」 「MRI/核医学業務について」 「CT/MRI/核医学業務について」	同愛記念病院 岩崎正浩 JCHO東京山手メディカルセンター 神山和明 武蔵野徳洲会病院 原 基壺
休憩	
16:15 「血管撮影業務について」 「告示研修からタスク・シフト/シェア開始まで」 「告示研修からタスク・シフト/シェア開始まで」	かわぐち心臓呼吸器病院 竹本直哉 東京臨海病院 野口幸作 順天堂大学医学部附属順天堂医院順天堂 木暮陽介
17:15 ディスカッション	

記

日 時：2025年3月15日（土）15時00分～18時00分（受付開始14時30分～）

場 所：東京医科大学病院 教育棟3階 第一講堂
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

ア ク セ ス：東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅（東京医大病院前）下車 2番出口またはE5番出口よりすぐ
都営大江戸線 都庁前駅下車 A7番出口より徒歩約7分

定 員：100名（先着順）

受 講 料：会員 500円、非会員 3,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年3月14日（金）

問い合わせ：教育委員長 市川重司 E-Mail：kyoiku@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

第78回定期総会での表彰（勤続20年）について

渉外委員会

本会は2025年6月に行われる、公益社団法人東京都診療放射線技師会 第78回定期総会において、本会表彰規程により労働精励賞の表彰を行います。

本年度資格到達者は本会で調査し、対象になった会員の方にはすでに案内を発送しております。調査漏れが生じることもありますので、下記に該当される方で、未だ本会より連絡のない方、または前年度までに資格到達された方で受賞の意思のある方は、お手数ですが2025年1月31日までに下記問い合わせ先までご連絡くだされば幸甚に存じます。

規程内容要旨：

- (1) 今回の該当者は2005年3月31日までに、診療放射線技師の免許を取得し、技師業務に20年以上従事した方が対象である。
- (2) 2011年3月31日以前に入会し、引き続き本会会員であって、会費を完納していること。（15年以上継続会員）
- (3) 現在正会員であり、引き続き2025年度も会員であること。

問い合わせ：渉外委員長 高野修彰 E-Mail：shougai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 1

2024年度 第13地区研修会（Web開催）

テーマ「救急領域における画像ワークステーションと考え方 ～使えるものは何でも使う！～」

講 師：杏林大学医学部附属病院 放射線部 山口 隼平 氏

皆さまの施設では画像ワークステーションは活用されていますか？

各社からリリースされているワークステーション。日常の業務においても画像作成・提供が行われており、三次元画像をはじめとする画像情報は診断・治療に大いに貢献していると思います。

今回の第13地区研修会では、「救急領域における画像ワークステーションと考え方」をテーマとし、三次救急の施設より講師をお招きし、救急領域ではどのように活用されているのか、迅速な画像提供が求められる現場で、どのように業務をこなしているのかなどをお話しいたします。

多くの方のご参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをダウンロードのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年1月24日（金）19時00分～20時00分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年1月17日（金）

問い合わせ：第13地区委員長 鮎川幸司 E-Mail：areal3@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2024年度 第6地区研修会（ハイブリッド開催）

テーマ「初学者のための医療情報について」

講 師：帝京大学医学部附属病院 中央放射線部 福田 一志 氏
日本医科大学付属病院 放射線科 有賀 大樹 氏

医療情報と言えばHIS・RIS・PACS・被ばく管理など多岐に渡り、診療放射線技師であればどなたにも関わる必要がある分野であると考えます。特に小規模施設やクリニックなどにお勤めの方は、管理を任されることも少なくないと思います。

今回の第6地区 地区研修会は『東京医療情報研究会』にご協力をいただき、初学者の為の医療情報についてご講演いただきます。何から勉強すればいいのか、どの様なことを理解するべきなのかなど学びの入り口になるようなお話をお願いしております。

皆さまのご参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをダウンロードのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年2月7日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時45分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

開 催 方 式：ハイブリッド開催（Zoom）

定 員：現地参加30名、Web参加50名（先着順）

受 講 料：無 料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年2月5日（水）

問い合わせ：第6地区委員長 伊佐理嘉 E-Mail：area06@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 3

2024年度 第4地区研修会

テーマ「検査部門の患者接遇に重要な事 ～接遇の質を高める具体的な方法とは～」

講 師：オフィスプレイズ代表 株式会社シャイニング チーフ講師
目賀田 美奈子 氏

この度、多くの病院で講義経験を持つ目賀田美奈子氏を講師にお迎えし、「検査部門における患者接遇の重要な事」をテーマにご講義いただきます。今回の講義では、皆さまが特に気になる接遇のポイントを取り上げ、患者満足度の向上やスムーズな検査施行に役立つアドバイスを得られることと思います。

明日からの業務に直結する内容が盛りだくさんの研修会ですので、どうぞ奮ってご参加ください。

記

日 時：2025年2月4日（火）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：東京慈恵会医科大学附属病院 南講堂

〒105-8471 東京都港区西新橋3-19-18

ア ク セ ス：都営三田線 御成門駅 A5出口より徒歩3分

定 員：100名（先着順）

受 講 料：会員 500円、非会員 1,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

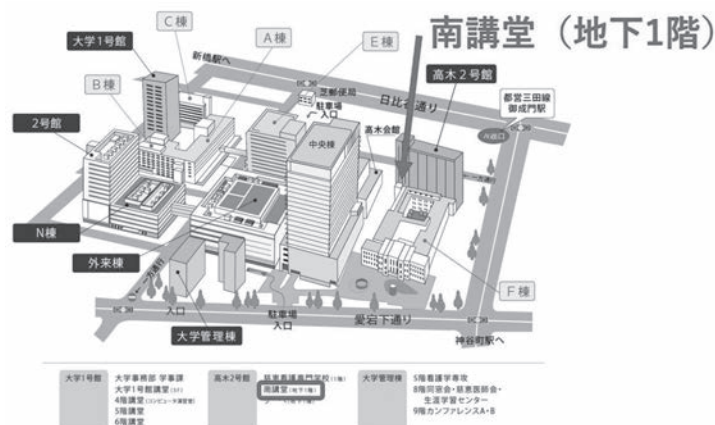
申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年2月1日（土）

問い合わせ：第4地区委員長 松田敏治 E-Mail：area04@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務局 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

2024年度 第12地区研修会（Web開催）

**テーマ「産業カウンセラーを目指し学んだ診療放射線技師に聞く！
放射線被ばく相談と患者接遇に活かすために必要な傾聴スキルとは？」**

講 師：健診会 東京メディカルクリニック（診療放射線技師・産業カウンセラー・

JART放射線被ばく相談員分科会委員・日本放射線カウンセリング学会理事） 荒木 智一 氏

皆さまは業務中に放射線被ばくに関する質問をされたときに、ドキッとした経験はありませんか？

なに聞かれるかな… 上手く答えられるかな… 大丈夫ですよ〜で済めば良いな… あれ？これって、患者さんの意思を汲んだ接遇になっていますか？ 自分本位の返答で終わらせようとしていませんか？

私たちがこういった放射線診療の相談を受ける場面では、さまざまな心境の方がいたはずであり、一度の相談では伝えきれないことが心に残っていたこともあったのではないのでしょうか。緊張や不安で伝え方に戸惑っているにもかかわらず、私たちが急いで解決しようと自分の主張を多くしてしまっ、話し手の真意をつかみ損なってしまうことは医療人として、診療放射線技師として改善しなければならないことだと感じます。被ばく相談には被ばくに関する知識が必要なことは周知のはずですが。

今回はそこだけではありません。患者さんとの信頼関係を築くための「傾聴スキル」を学んでみませんか？ 言葉や表情、話し方など、被ばく相談以外にも役立てる時間になるはずです。

患者接遇にまだ不安のある新人の方から、相談を受けることが多いベテランの方まで、多くの方々のご参加をお待ちしています。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをダウンロードのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年2月20日（木）19時00分～20時00分

開催方式：Web開催（Microsoft Teams）

定 員：100名

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年2月18日（火）20時00分

問い合わせ：第12地区委員長 吉村 良 E-Mail：areal2@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 5

2024年度 第16地区研修会（Web開催）

テーマ「診療放射線技師に必要な医学知識 ～学校では習わない診察概論～」

講 師：東京健康科学大学ベトナム 工藤 年男 氏（第16地区委員）

本年度の第16地区研修会は、これから診療放射線技師になられる方や、入職されて日の浅いフレッシュマンを対象に、診療放射線技師として知っていてほしい医学知識を中心に講演します。

もちろん、中堅の方やベテランの方たちの聴講も歓迎致します。皆さまのご参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをダウンロードのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年2月21日（金）19時00分～20時30分

開催方式：Web開催（Zoom）

受講料：無 料

定 員：50名（先着順）

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※Zoom IDとパスワードは、2月17日（月）までに、お申し込みいただいたメールアドレスに配信致します。未着の場合は、下記アドレスにお問い合わせください。

申込締切日：2025年2月15日（土）

問い合わせ：第16地区委員長 関谷 薫 E-Mail：areal6@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2024年度 第9地区研修会（Web開催）

テーマ「知って得する画像のトリビア ～正常変異やアーチファクト、撮影のコツを中心に～」

講 師：健診会 東京メディカル画像診断センター 荒木 智一 氏
地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 石田 奨 氏

正常変異とは、いつも見ている正常構造とやや違うが病的意義はなく、正常の範囲内に入る所見のことです。これらに関する基礎的事項を熟知しておくことは、病的状態を見誤らないために重要です。

今回はCTとMRIで遭遇することの多い正常変異について、撮影のコツを中心に2名の先生に講演していただきます。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをダウンロードのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年2月26日（水）19時00分～20時00分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：80名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

申込締切日：2025年2月19日（水）

問い合わせ：第9地区委員長 西郷洋子 E-Mail：area09@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 7

2024年度 第2地区研修会 (Web開催)

テーマ「変形可能！ 最新乳房ファントム

『Comp-AY型(Compressible Mammography Phantom)』の紹介

講 師：国立がん研究センター東病院 池野 薫 氏

放射線医学の分野で使用される『ファントム』には、目的に応じてさまざまな種類がありますが、特にマンモグラフィ装置の性能評価や品質管理においては、ACRファントムやステップファントムが広く利用されています。これらを用いてX線出力や解像度、コントラストなどを定期的にチェックすることで、診断精度と安全性を担保しています。

今回、さらに新しいアプローチとして、乳房の圧迫をリアルに再現し、臨床に近い画像を取得できる“変形可能”な乳房ファントム『Comp-AY型』が開発されました。医療スタッフの教育やトレーニングにも役立つこの新ツールをご紹介します！

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをダウンロードのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2024年2月28日（金）19時00分～20時00分（受付開始18時40分～）

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年2月10日（月）

問い合わせ：第2地区委員長 島田 諭 E-Mail：area02@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2024年度 第15地区研修会

テーマ「線量管理ソフトとは？ 基礎から解説」

講 師：株式会社ジェイマックスシステム 営業部営業推進グループ 伊達 大輔 氏
富士フイルムメディカル株式会社 営業本部IT事業推進部 中野 伸哉 氏
帝京大学医学部附属溝口病院 中央放射線部 西澤健太郎 氏

2020年4月の医療法改正により、放射線量の管理・記録が義務化されました。それに伴って、私たち診療放射線技師の業務も工夫が必要となってきています。手入力で記録される線量データは管理が複雑になり、効率的ではありません。私たちに求められていることは、いかに正確に線量を管理し、業務の負担を軽減・簡便化できるか？ また、患者さんに求められたときにしっかりと説明できるか？ の二点です。この二点を実現できる1つが「線量管理ソフト」であります。では、「線量管理ソフト」とは実際どういうものなのか、どう使用するのか、どんなメリットがあるのか… 意外と知らない線量管理ソフトの全てを今回はご紹介致します。ぜひ、奮ってご参加ください。

記

日 時：2025年3月3日（月）19時00分～20時30分（受付開18時30分～）

場 所：高津市民館 視聴覚室
〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口1-4-1

ア ク セ ス：JR南武線 武蔵溝ノ口駅北口より 徒歩2分
東急田園都市線 溝の口駅東口より 徒歩2分

定 員：50名（先着順）

受 講 料：診療放射線技師 500円
新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年3月2日（日）

問い合わせ：第15地区委員長 宮下（池田）麻依 E-Mail：areal5@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

2024年度 第8地区研修会

テーマ「あなたが定めた照射野のその先で」

講 師：杏林大学 保健学部 診療放射線技術学科 石川 純也 氏

本年度の第8地区研修会は、私たち診療放射線技師の後進育成のため講師としてご活躍され、さらに放射線生物学を熟知された杏林大学の石川純也氏をお招きします。診療放射線技師は生体へ直接、放射線を照射するほぼ唯一の職種であり、照射された放射線が生体に何をもちこたすのか知り、責任を持つべきではないでしょうか。本研修会で放射線が生体にもたらす影響について学びたいと思います。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：2025年3月13日（木）19：00～20：30

場 所：東邦大学医療センター大森病院 臨床講堂（5号館地下1階）

東京都大田区大森西6-11-1

ア ク セ ス：京浜急行線 梅屋敷駅から徒歩約7分（各駅停車にご乗車ください）

JR蒲田駅からバス約4分

（東口2番バス乗り場から「大森駅」行きに乗車「東邦大学」下車）

JR大森駅からバス約12分

（東口1番バス乗り場から「蒲田駅」行きに乗車「東邦大学」下車）

定 員：50名（先着順）

受 講 料：会員 500円、非会員 1,000円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年3月12日（水）

問い合わせ：第8地区委員長 大津元春 E-Mail：area08@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



広域地図



周辺地図

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

2024年度 第11地区研修会（Web開催）

テーマ「タスク・シフト/シェアと診療放射線技師の需給予測」

講 師：東京医療保健大学 東が丘看護学部 教授 小野 孝二 先生

2024年の厚生労働省の発表する有効求人倍率（季節調整値）によると、10月は1.25倍、2ヶ月連続で前の月を上回ったようです。採用時の最低時給も前年より上昇したとの報道もありました。

われわれ診療放射線技師の分野においてはいかがでしょう。「診療放射線技師法改正」により業務範囲が拡大され、求人も増えるようにも期待されるところです。

今回のテーマは、診療放射線技師の未来を考える「タスク・シフト/シェアと診療放射線技師の需給予測」を企画させていただきました。若い世代の方から、役職者の方まで、多くの方々のご参加をお待ちしています。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをダウンロードのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年3月14日（金）18時30分～20時00分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：100名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年3月10日（月）

問い合わせ：第11地区委員長 名古安伸 E-Mail：areall@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 11

会費納入のお願い

会員の皆さまには、平素より公益社団法人東京都診療放射線技師会の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。本会は皆さまの会費によって運営されております、スムーズな会務運営のためご協力いただきますようお願い致します。

さて、会費納入期限は、9月30日となっております。お忘れの方は、お手元の払込用紙をご利用の上、早期に納入していただきますようお願い致します。

なお、会費未納期間2年以上の会員については、退会の手続きを致しておりますのでご注意ください。ご不明な点は事務所までお問い合わせください。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

技師会入るなら今がチャンス！

令和5,6年度に限り

新入会（新卒、既卒を問わず）無料キャンペーン



東京都診療放射線技師会
新卒・既卒問わず会費
5,000円



0円

必要となる技師会費は

日本診療放射線技師会(JART) + 東京都診療放射線技師会(TART)

お得！

たとえば、技師免許取得年度に入会する者
JART（初年度会費5,000円+ **入会費無料**）

+ TART（~~5,000円~~） 今だけ0円 = 5,000円

JART年会費 5,000円のみでOK！

まだまだお得な情報が沢山！詳細はこちら→



HPへGo!



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

東京都功労者表彰



昭和大学江東豊洲病院 放射線技術部 課長

いしだ ひでき
石田 秀樹

昭和40年3月25日生（59歳）

【経歴】

昭和63年 3 月	中央医療技術専門学校	卒業
平成16年 3 月	大学評価・学位授与機構	学士取得
平成23年 3 月	放送大学大学院	卒業 修士取得（学術）
令和 5 年 3 月	昭和大学大学院	博士取得（歯学）

【職歴】

昭和63年 4 月	昭和大学病院	入職
平成23年 4 月	昭和大学歯科病院	異動
平成31年 4 月	昭和大学藤が丘病院	異動
令和 2 年11月	昭和大学江東豊洲病院	異動
	現在に至る	

【団体歴】

平成13年 4 月～平成15年 3 月	社団法人東京都放射線技師会	広報委員
平成15年 4 月～平成17年 3 月	社団法人東京都放射線技師会	理事（総務担当）
平成17年 4 月～平成23年 3 月	社団法人東京都放射線技師会	総務委員
平成23年 4 月～平成28年 6 月	公益社団法人東京都診療放射線技師会	理事（総務担当）
平成28年 6 月～令和 2 年 6 月	公益社団法人日本診療放射線技師会	理事（副会長）
令和 2 年 6 月～令和 4 年 6 月	公益社団法人東京都診療放射線技師会	理事 （創立70周年記念事業担当）

【賞罰歴】

平成22年 5 月	社団法人東京都放射線技師会	功労賞
平成28年 6 月	全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会	奨励賞
平成29年 9 月	公益社団法人日本診療放射線技師会	学術奨励賞
令和 2 年 6 月	東京都福祉保健局長	感謝状
令和 2 年 9 月	公益社団法人日本診療放射線技師会	永年勤続表彰
令和 3 年 6 月	公益社団法人日本診療放射線技師会	地域功労賞
令和 5 年 6 月	公益社団法人東京都診療放射線技師会	特別功労賞

東京都功労者表彰を受けて

石田秀樹

この度、公益社団法人東京都診療放射線技師会の推薦により、小池百合子東京都知事より東京都功労者表彰を受賞しました。令和6年10月1日に都庁第一本庁舎にて、国歌斉唱に続き東京都名誉都民の顕彰式とともに功労者表彰式が挙行されました。

江田会長、高野理事（渉外担当）をはじめ、現役員、諸先輩の皆さま、そして会員の皆さまに心より御礼申し上げます。

技師会活動を応援してくれた、職場の仲間、家族にも感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、皆さまとのつながりを大切に、日々の精進を目標として、楽しんでまいりたいと思います。

最後になりますが、東京都診療放射線技師会の一層の発展並びに、国民医療への貢献と皆様方のご健勝を祈念申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。



石田秀樹様の東京都功労者表彰受賞への祝辞

会長 江田哲男

この度、本会元副会長でございました石田秀樹様が本会推薦により、令和6年10月1日（火）に東京都功労者表彰を受賞されましたことをご報告するとともに、心よりお祝い申し上げます。また、今回の受賞におきましては、本会会員にとっても大変誇りに感じるところです。

石田様は、平成15年から1期と、平成23年からも理事及び総務委員長として再任されました。3期にわたり本会総務理事としてご尽力いただき、その後、平成28年より副会長として3期にわたり本会の発展に大きく貢献されました。さらに令和2年には本会理事として、創立70周年記念事業実行委員長を務められ、記念誌の作成などの重要な事業にお力添えをいただきました。

これらの実績に基づき、令和2年には東京都福祉保健局長より感謝状が授与され、令和3年には日本診療放射線技師会から地域功労賞を授与されるなど、石田様の功績は高く評価されております。

このたびの東京都功労者表彰は、石田様が診療放射線技師として都民の福祉と健康に大きく寄与されたことを広く認められたものであり、その輝かしいご業績に改めて敬意を表します。

石田様の今後ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げますとともに、本会に対し引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

叙勲 瑞宝双光章 受章



順和会放射線室 室長

しのはら けんいち
篠原 健一

昭和34年11月26日生（65歳）

【経 歴】

昭和56年 3 月	城西放射線技術専門学校	卒業
平成23年 3 月	放送大学教養学部	卒業

【職 歴】

昭和53年 4 月	東京医学検査研究所	入職
昭和60年 2 月	同	退職
昭和60年 3 月	河北総合病院画像診断部	入職
平成29年 3 月	同	退職
平成29年 4 月	河北健診クリニック	入職
令和 1 年12月	同	退職
令和 2 年 4 月	順和会放射線室	入職
	現在に至る	

【団体歴】

平成 5 年 4 月～平成13年 3 月	社団法人東京都放射線技師会 地区委員
平成13年 4 月～平成17年 3 月	社団法人東京都放射線技師会 理事（渉外担当）
平成17年 4 月～平成23年 3 月	社団法人東京都放射線技師会 理事（総務担当）
平成23年 4 月～令和 4 年 6 月	公益社団法人東京都診療放射線技師会 会長
平成26年 6 月～令和 4 年 6 月	公益社団法人日本診療放射線技師会 理事

【賞罰歴】

平成13年 6 月	杉並救急業務連絡協議会 感謝状
平成14年 5 月	社団法人東京都放射線技師会 功労賞
平成22年 5 月	東京都福祉保健局長 感謝状
平成24年 9 月	公益社団法人日本診療放射線技師会 永年勤続表彰
平成29年 6 月	厚生労働大臣表彰
令和 5 年 9 月	公益社団法人日本診療放射線技師会 功労賞
令和 5 年10月	東京都功労者表彰
令和 6 年 6 月	公益社団法人東京都診療放射線技師会 特別功労賞

「瑞宝双光章」受章にあたり

篠原健一

令和6（2024）年11月3日（文化の日）付けにて、東京都診療放射線技師会の推薦により、瑞宝双光章を受章致しました。同11月18日には皇居宮殿「豊明殿」にて天皇陛下に拝謁の栄を賜りましたのでご報告申し上げます。

江田哲男会長はじめ推薦事務諸般を取り仕切っていただいた高野修彰理事（渉外委員長）、現役員・表彰委員の皆さま、任期中にご一緒させていただいた元役員・諸先輩の皆さま、そして会員の皆さまに心より御礼申し上げます。

2011年3月、私の本会会長就任が決まった日に橋本宏顧問（当時）が「会長ってのはね、大きな声を出すんだよ」と仰いました。その時は馬鹿単純に「就任の挨拶の時の声が小さかったのかな？」と思ったのです。でもそれは、「大きなビジョンを示せ」ということでした。

私の声（ビジョン）は小さかったかもしれませんが、それを大きくしてくれた仲間やご指導いただいた先輩方、そして支えてくださった会員の皆さまのご功績が評価されたものと思っています。

私が診療放射線技師になるために学んだ母校の校訓は「報恩感謝」でした。以来、座右とし「感謝」の気持ちは忘れたつもりはありません。しかしながら「報恩」についてはまだまだです。残された人生はそれほど長くはありませんが、斯界の発展に少しでもお役に立てますよう余命を過ごしたいと考えています。

東京都診療放射線技師会の一層の発展並びに国民医療への貢献と皆様方のご健勝を祈念申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。

篠原健一様 瑞宝双光章ご受賞 祝辞

会長 江田哲男

このたび、本会顧問であられる篠原様が、本会の推薦により令和6年秋の叙勲「瑞宝双光章」を受章されましたことを謹んでご報告申し上げますとともに、心よりお祝い申し上げます。

篠原様は、平成13年4月から平成23年3月までの10年間にわたり理事および渉外委員長、総務委員長としてご尽力いただきました。その後、平成23年4月には本会会長（代表理事）に就任され、令和4年6月までの6期11年間にわたり、会の発展に多大なる貢献をしてくださいました。

会長としての主な実績には、平成23年の福島第一原発事故後における都内避難所での放射線サーベイ活動（東京都より団体功労表彰、厚生労働省より感謝状授与）、公益社団法人への移行、総会の代議員制への移行、日本診療放射線技師会と連携した「業務範囲拡大に伴う統一講習会」の実施、さらに国際化事業の推進（ソウル放射線士会との学术交流協定締結）など、数多くの功績が挙げられます。

また、令和元年度には関東甲信越診療放射線技師学術大会・東京大会の大会長を、令和3年には第37回診療放射線技師学術大会ならびにAACRT（アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会）、EACRT（東アジア学术交流大会）の大会長を務められました。この際、組織として初のハイブリッド方式（対面およびオンライン形式の併用）を採用し、大会を成功に導かれたことは特筆すべき成果です。

このたびの瑞宝双光章ご受章は、篠原先生の診療放射線技師としての輝かしいご業績が国民福祉に多大な貢献を果たされたことへの高い評価であると存じます。改めて篠原先生のこれまでのご尽力に深く敬意を表し、今後ますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。併せて、本会への引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年新春座談会

診療放射線技師の 職域と社会性



畦元将吾
前衆議院議員



江田哲男
東京都診療放射線技師会 会長



浅沼雅康
東京都診療放射線技師会 編集委員長

はじめに

浅沼編集委員長：新年明けましておめでとうございます。

江田会長：おめでとうございます。

畦元先生：おめでとうございます。

浅沼編集委員長：本年巳年の新春座談会は、東京都診療放射線技師会 江田哲男会長と、診療放射線技師で国会議員の経歴を唯一お持ちの、東京都診療放射線技師会の会員でもある前衆議院議員、畦元将吾先生をお招きし、これまでにない視点でのお話をたくさんお聞きしたいと思います。江田会長、畦元先生、本日はどうぞよろしくお願い致します。

江田会長：よろしくお願いします。

畦元先生：よろしくお願い致します。

浅沼編集委員長：まず、江田会長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願い致します。

江田会長：まずは新年明けましておめでとうございます。そして新しい年を迎えた最初の会誌掲載に当たり、本当に忙しい中、畦元先生におかれましては、われわれの対談にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

本日は畦元先生から普段では聞けないような今までのご経歴、そしてわれわれ診療放射線技師が今後どのように進んでいくべきなのか、畦元先生が今、これから進めていきたい政策なども含めてお話しいただければと思います。どうぞよろしくお願い致します。

浅沼編集委員長：それでは畦元先生、ご挨拶をよろしくお願い致します。

畦元先生：本日は新年の座談会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。

診療放射線技師として、衆議院議員を2019年7月から2024年の10月まで務め、診療放射線技師の代表として頑張ってきました。本当に皆さま方のご支援をいただき、ありがとうございました。

昨年1年を振り返って

浅沼編集委員長：昨年1年間を振り返ってお二人にお話を伺いたと思います。江田会長、昨年はどのような1年でしたでしょうか。

江田会長：昨年1年を振り返ると、特に印象に残ったことが3つあります。

1つ目は、私が会長になってから入会促進のために委員会を立ち上げ、さまざまな企画を進めた結果です。昨年10月時点で、会員数は2,732名、組織率は44.5%まで増えました。私が就任した頃は、組織率が40%を切っていて、会員数も2,400名ほどだったと記憶しています。それが大きく伸びたのを実感できたことが、とても印象的でした。

2つ目は、国際委員会を設置し、ソウル特別市放射線技師士会との学術交流が以前のように活発に再開できたことです。この交流がまた動き出したのは、とても嬉しい出来事でした。

3つ目は、地区委員会やサマー・ウィンター・ペイシエントケア学術大会などに、多くの会員の方々が積極的に参加してくださったことです。皆さんの協力があったおかげで、事業活動がとても盛り上がりました。

以上の3つが、昨年を通して特に心に残っている出来事です。

浅沼編集委員長：江田会長が設置された新しい委員会の皆さまは全員若く活気にあふれ、われわれ執行部としても非常に良い刺激を受けております。それでは畦元先生、1年を振り返ってどのような1年でしたでしょうか。



畦元先生：昨年1年間を振り返ると、特に印象的だったのは核医学と認知症に関する取り組みです。

まず核医学では、アルツハイマー病の診断に使用されるアミロイドPET検査の保険適用を実現するために尽力しました。一時は脊髄液検査のみ保険適用となり、PET検査は対象外でしたが、関係者と協力し、保険点数を獲得することができました。これが大きな成果でした。

次に認知症対策です。認知症は早期発見すれば治る可能性が高い病気であり、特にMCI（軽度認知障害）の段階での発見が重要とされています。MRI検査を活用した早期診断に取り組み、認知症健康診断の普及を目指しました。例えば、神戸市では400円でアミロイドPET検査まで受けられる仕組みがあり、これを全国展開しようと努力しました。また、東京の文京区や足立区でも同様の取り組みが始まっています。

これらの活動を通じて、診療放射線技師や臨床検査技師が中心となり、認知症の健康診断を推進する重要性を国会やマスコミに訴えました。この取り組みが特に思い出深い1年でした。

浅沼編集委員長：私も今、核医学専属の診療放射線技師として、アミロイドPET検査を毎週のように実施させていただいております。病院の施設認証を取る時も、先生がその道筋をきちっと付けてくれたおかげで自施設などの説明がスムーズに進められ理解を得ることができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

国会議員の仕事と診療放射線技師の接点

浅沼編集委員長：診療放射線技師で唯一無二の国会議員をご経験しております畦元先生に、国会議員の仕事とはどのようなものなのか？ われわれ診療放射線技師とどのようなつながりを持っているのかなど、話せる範囲でお話しいただいて、われわれと政治の密接なつながりというのを少し勉強したいと思います。ご説明いただけますでしょうか。

畦元先生：では、私からお話しします。国会議員



には参議院と衆議院がありますが、一番大事な仕事は「法律を作ること」です。そして、その法律を実行するための予算をどう使うかも重要な役割です。これが私の5年間の活動の中で特に力を入れてきたところです。

診療放射線技師会をはじめ、さまざまな団体から「これを実現してほしい」という要望がありますが、最終的には法律を変えることが何より重要です。例えば、がん治療の新しい薬について取り組んできたことがあります。

普通、がん治療というと放射線治療や手術、最近ではゲノム医療や遺伝子治療などが挙げられますが、私は核医学による放射線治療がこれからの柱になると考えています。例えば、前立腺がんの全身転移を治す薬があります。この薬はアルファ線を使った治療薬で、世界的にも注目されています。ただ、この薬を作るには原子炉が必要で、中国、ロシア、日本でしか作ることができません。しかし、日本の動きが遅いのです。

そこで私は「この薬で救える命があるなら、やらない理由はない」と動きました。診療放射線技師や医師の方々の知識を借りながら、予算を取り、実用化までのスピードを上げました。放っておいたら10年かかるところを、2～3年でできるよう進めています。こういったことは、診療放射線技師の国会議員がいなければ前に進まなかったと思います。

さらに、当初、この薬は原子炉でしか作れないとされていましたが、加速器でも作れるようになるという話が出てきました。それを聞いた自治体の市長や知事が「うちでもやりたい」と動き始めています。これも国会議員の仕事のひ

とつです。こうして国会議員が動くことで、自治体やマスコミが注目し、どんどん広がっていきます。

重粒子線や陽子線治療も、もっと早く普及させられるはずです。それが遅れているのは、国会での動きが足りなかったからだと思います。国会は法律を変える場所であると同時に、PRをする場所でもあります。私自身、企業時代に培ったPRの経験を活かし、国会でも積極的に情報発信してきました。認知症対策では、フジテレビやNHKの協力で全国に取り組みを広げることができました。

国会議員の仕事を整理すると、「法律を変えること」と「PRを通じて社会を動かすこと」の2つです。PRが成功すれば、自治体や関係者が次々と動き出し、現実の成果につながります。ただし、PRに失敗すると逆に問題が大きくなるので、そこは注意が必要です。

私の役割は、患者さんや国民のために法律を変え、必要な取り組みを実現するための「広告塔」になることだと思っています。ちょっと話が脱線しましたが、分かりましたでしょうか。

浅沼編集委員長：はい、大変よく理解ができました、ありがとうございます。

江田会長：私も近くで畦元先生のご活躍を長く見させていただきました。先ほどもお話のあった2つの政策は大きな取り組みだと思います。早期認知症への取り組みについては、自民党内をはじめ、厚労省や報道関係者からも興味がある政策のひとつで、畦元先生が企画された衆議院議員会館で開催された勉強会も多くの方々が参加されていました。そういった中で行政の方々や議員の方々も、興味を持っている方がたくさんいたのは事実だと思います。

もうひとつの政策は、原子炉や加速器を使用して薬剤を製造するアクチニウムを中心にした前立腺がん治療関連の政策です。この政策は大変グローバルな計画であり、通常の人ではなかなか発想できない政策だと思いました。「日本には原子炉がある。その原子炉を原発のエネルギーだけに使うのではなくて、こういう薬のほうに使うのが私の夢なのです。」ということをして、以前、言われた時に、畦元将吾という人の大きさを感じました。現在の国民感情は原子炉、原

発というと、拒絶される方が多くいらっしゃいますが、上手に活用すれば人の命を救う薬を作ることにも可能なんだという発想にとっても共感した記憶がございます。

そういうことを考えると、このまま議員でなくなってしまうと、今おっしゃったような政策を企画し、進める事の出来る議員がいなくなるという事がどれだけ国民に影響してしまうのか？ ととても残念な気持ちです。現在、考えている政策がどれだけ国民にとって有益な事なのかを皆さまにも理解していただきたいですね。ただ、原発利用が本当に安全なのかも含めて議論は必要だとは思いますが、畦元先生のお考えを再び国政で声高に打ち出してほしいですね。

畦元先生：ありがとうございます。もう一つだけ言うと、多分、知らない人も多いと思うのですが、福井県のもんじゅの技術は、実はとても優れていたんです。ただ、人災によって計画が頓挫し、今はもうなくなってしまいました。しかし、もんじゅの技術そのものは非常に高いものでした。具体的には、ナトリウムを使って電子を非常に高速に動かす技術です。

この技術は、ビル・ゲイツも注目していて、アメリカに持ち込まれ、現在「テラパワー」というプロジェクトに活用されています。日本の原子炉技術は本当に素晴らしいものです。もちろん、改善すべき点がありますが、優れた部分はしっかり活用すべきです。実際、この技術があったからこそ、アクチニウムの製造が可能になったのです。

江田会長：茨城県にある「常陽」でアクチニウムを作れるという話がありましたよね。

畦元先生：そうです。唯一日本にあるのが「常陽」



と「もんじゅ」でした。「もんじゅ」がなくなってしまったので「常陽」しかない。ただ「常陽」は研究炉で数は作れないため、量産化するのであれば、もう1つ施設をつくらないといけないと思うのですが。

繰り返しますが、できるのは中国とロシアと日本しかありません。これは私もちょっと商売人の気があるので政府に言ったのは、それをうまくやれば海外に輸出できますよと。よく私は国会議員のビジネスマンだといわれるのですが、そうすると内需拡大で日本の貿易が良くなりますと強く提言しました。

日本にはサイクロトロンがたくさんあります。最近では、アスタチンを作る試みも進んでいます。こういった分野をもっと頑張れば、日本から輸出することも可能になります。そう考えると、私たち診療放射線技師は、医療現場だけでなく、医療以外の分野でも活躍できる場が広がるんじゃないかと思うんです。

江田会長：その管理を診療放射線技師が実施すると業務も広がり、魅力的な職種になると思います。

畦元先生：そうなのです。だから診療放射線技師には、もっといろんな分野で活躍してほしいと思っています。たとえば、被ばくに関して文部科学省とつなぐ仕事もしましたが、それも診療放射線技師の職域を広げるための一環でした。診療放射線技師の仕事って、まだまだ可能性があると思います。もちろん医療が一番大事ですが、技術を活かせる場は医療以外にもあるはずです。

ちなみに、私は昔メーカー（GE社）に入っていたのですが、GEで入職したのは5番目くらい

だったと思います。

浅沼編集委員長：診療放射線技師から転職した経歴をお持ちの方ということですか。

畦元先生：そうです。シーメンスが3人いたので、正確には8番目、私がGEで5番目でした。その頃はメーカーに入る診療放射線技師は、まずいませんでした。笑い話なのですが、当時勤務していた病院の技師長とちょっと戦いがありまして。私はCTを担当していて、遅くまでやっていましたが、早く帰れ！と言われて。公務員でしたからみんなに迷惑だって言われて。そのあとに、辞められるなら辞めてみろ！と言われて、売り言葉に買い言葉で、辞めますって言ったら、翌日に退職届を早く出せって言われてしまいました。

あわてて就職先を探してその時にGEに行ったのです。そういういきさつでGEに行って、作る側になって頑張ってきました。

私たちの時は、8人しかいませんでしたが、今はメーカーでお仕事されている診療放射線技師はものすごく多くなりましたね。

浅沼編集委員長：若い方が多いですね。

江田会長：そうですね。

畦元先生：本当は病院に入ってからメーカーに行けばいいと思うのですが。今言ったような原子力や、いろいろな開発など、ものすごく広がってくると思うのです。ですからそういう道筋をつくりたいなという思いもあります。

江田会長：畦元先生とは、もう20年以上のお付き合いになります。私が以前勤めていた病院に、AZEの前身で杉並区にあった小さな会社だった頃に出会いました。それから、みるみるうちに成長して、大きな会社になり、その後は皆さんご存じの通り衆議院議員になられました。本当にいろんな経験を積まれている方だと思います。

畦元先生：いつも診療放射線技師の先生方には本当に助けてもらっています。「畦元、何をしてほしい？」「ちゃんにご飯を食べている？」なんて声をかけてもらって、「すみません、当社の商品を買ってもらえたらご飯食べられるので！」って冗談半分をお願いしていました。もちろんすぐにも買ってもらったわけじゃないですが、そうやって気にかけてもらえるのがすごく



うれしかったです。

あと、会社がまだ小さかった頃、「お前の会社、そのままだとつぶれるんじゃないか？」って言われたことがあって、「どうしたらつぶれませんか？」って聞いたら、「杉並区じゃなくて千代田区とかに移ればいいんじゃない？」と言われたのです。それで、「分かりました！」って

て本当に千代田区の神田に移したのですよ(笑)。そんなやりとりもありましたが、本当に先生方にはいろいろ助けてもらいました。余談ですみません！

浅沼編集委員長：心温まる、楽しい話をありがとうございます。

江田会長：昔の話になってしまってますみません。

浅沼編集委員長：話を戻しますが、やはり今年の国際学会を見ると核医学は内用療法一色で、時代の流れを感じています。畦元先生、この法整備と社会の仕組みを構築していただきたいですね。

江田会長：そういうことができる人が今の国政にいないと意味がないのですよ。だからその辺はわれわれとしても、皆さん認識していただけると非常にありがたいと思います。

浅沼編集委員長：結局、やれる技術も必要、それを実施する法律も必要、それから管理するシステムも必要。こういうのが全部そろわないと、診療放射線技師もそうですが国民も安心して受け入れられないということになるのでしょうか。

畦元先生：アクチニウムって放射線を使うから、やっぱり放射線って言葉に対して抵抗感を持つ人が多いのです。特に国会議員は選挙に勝つために、放射線って言葉を避けたがります。一般の人でもその言葉に怖がって距離を置くのですね。それをあえて言っていた議員は私だけでした。でもみんな、原子力や放射線が必要だってことは分かっているのです。ただ、議員の方々は、地元に戻ると『放射線はちょっと…』って言われて急に言葉を止めてしまう。そこで、放射線の問題を無視して進められる人がいない



と、前に進まないのです。私たち診療放射線技師の中では、そのことがすごく大事だと思っています。

今は私ももう一度頑張っていきたいと思っていますが、アクチニウムに関しては、予算は取ったけど、まだ進んでいない部分もあります。研究用の予算はおそらく、付くと思うけど、それ以上に大事なものは法律の問題です。実は、病院内の放射線に関する法律はほとんどガンマ線を前提にしているのです。例えば、核医学で使った後、アンギオの部屋に移すとき、ガンマ線としての処理をしないとイケない。でも、もしアルファ線だったら、取り扱いが全く違うので、それを法律でちゃんと変える必要があります。私はそのために動いていたのですが、ちょうどそのタイミングで解散があって、途中で止まってしまいました。だから、この法律も変えていかなければいけない。

アルファ線の場合、うまく使えば治療中でも患者さんは普通に仕事ができるのです。だって、アルファ線は皮膚1枚で止まるので、外に飛び出すことはないのですよ。確かに尿に問題がありますが、うまく管理すれば大丈夫です。

江田会長：紙一枚で止まるから。

畦元先生：国会では放射線のことを今までは、私が先頭に立って他の国会議員にも協力を仰ぎましたが、私がいなくなってしまったから、どうなるのかなというのはちょっと心配しています。

浅沼編集委員長：先細りがなければいいですね。

畦元先生：そうなのです。そこがすごく気になるところです。

診療放射線技師がおかれている現状

浅沼編集委員長：会長、今、法律の話なども出ましたが、われわれを取り囲む他職種を含む中で診療放射線技師が置かれる立場とか、タスク・シフト／シェアなどのお話で会長から強く取り組んでいるもの、もしくは行政とのつながりなど何かありますか。

江田会長：今のお話の中で、やはり他職種との絡みっていう形になりますと、チームとして助け合いながら、そして協調しながら医療をやっていくという事がとても重要だと思います。

技師会としては、われわれの業務が安全安心に患者さんや受診者に対して提供するために技術の向上や維持をするための教育などが技師会の責務と考えています。一方で技師会ではなく、皆さまもご存知である日本診療放射線技師連盟はどのような事を目的としている団体なのか？という事を理解していかなければならないと思います。

今回、診療放射線技師の法律が一部改正され、業務拡大が図られました。この時に大きく動いたのは日本診療放射線技師会や他職種団体でございますが、この法案の陰では国会議員の方々も大きく関与しています。

先ほど畦元先生がおっしゃったように、国会議員の役割は法律を作ることです。その法律を作るためには、法律に関わる政治家を育て、送り出す必要があります。これこそが、連盟の大事な仕事だと考えます。

具体的には、私たちの資格の向上や資格を守



ることです。その「資格を守る」というのは、他の職種から私たちの業務を守るという意味でもあります。皆さんもご存じかもしれませんが、私たちの「医療放射線を発生させる」資格は独占業務として認められています。医療技術系の他職種と比較しても、私たちだけが持つ特別な業務なのです。

ただ、これを他職種の方々から見れば、「その業務を少しでも分けてほしい」と考える場合があります。例えば、「低エネルギーのX線だけでもやらせてもらえませんか」といった要望が、畦元先生のところにも届いているのではないのでしょうか。

こういった背景について、会員の皆さんにはあまり知られていないかもしれません。ぜひ今日は少しでもこうしたお話を聞かせていただけると嬉しいです。

畦元先生：確かに、他職種から「レントゲン（放射線やX線）は部分的にでも使わせてもらえないか」といった要望が来ていました。ですが、私の考えとしては、一度認めてしまうと、どんどん業務範囲が広がってしまう恐れがあります。国家資格としての独自性を守るために、全て断っていました。

法律を守ることは大前提ですし、私たちの仕事は独自性のある業務です。それを「少しぐらいなら」と言われても、私は一切認めませんでした。

厚生労働省からも私に確認が来るのが常でした。それだけ、私たちの業務範囲を守ることが重要だと考えます。ただ、これからも声を上げ続ける必要があります。

江田会長：そういうところでもやっぱり復活してもらわないと困りますね。

畦元先生：1年間ぐらいは、厚生労働省に言えると思うのでいいですが、1年たってしまうと官僚も替わりますから。

江田会長：そうですね。

畦元先生：ありがたいことに今回負けた時に、ちょっとうれしかったのですが、環境、経産、厚労、官僚関係のトップが来てくれてまして。

江田会長：先生のところにですか。

畦元先生：そうです。畦元さん、困る、どうしようって言われまして。何かあったらちゃんとや



りますからって携帯番号を教えてきて、名刺も持って、いつでも相談に乘りますよと。でも彼らも1~2年で替わってしまうのですよ。だから今度こそ、次の戦いには勝たないといけないなとは思っています。

江田会長：4年前に新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、それに対応した従事者の慰労金という形でお金が支給されました。それにも畦元先生のご活躍があった。その辺のお話も少し聞かせていただけるとありがたいです。

畦元先生：当初の予定では、医師と看護師のみでしたが、検査技師は宮島先生が診療放射線技師は私が担当して頑張って言いました。診療放射線技師は「その他」って括られていたのですが、その他はないではないかって言ったのです。それで一応、診療放射線技師は確か分かれて入ったはずですよ。たしか、20万円ほど支給されたとおもいます。

江田会長：そう、20万円ですね。

畦元先生：当初、支援金は一律5万円でした。しかし、「診療放射線技師は濃厚接触者にあたらないのか？」という疑問がありました。胸部写真を撮る一般撮影やCT撮影を行うのに、なぜ同じ扱いではないのかと。そこで、何人かの技師の先生に協力してもらい、実際の撮影の写真を用意してもらいました。それを見せながら、「これが濃厚接触にあたらない理由は何ですか？」と説明しました。

その写真を、当時政調会長だった岸田先生や他の知り合いの議員の方々に持って行きました。また、幹事長だった二階先生にも見せたところ、「それは確かに畦元が正しい」と賛同していただきました。その結果、支援金が大きく

変わり、20万円を受け取れるようになったのです。

正直に言うと、私が動いていなければ、20万円は実現しなかったと思います。

江田会長：5万円だったかもしれないですね。

畦元先生：一律5万円で終わっています。濃厚接触者として認めてくれなかったのです。

江田会長：それを知らない診療放射線技師が多いと思います。

畦元先生：あと、ポータブルX線装置が当時、助成金対象装置に入っていませんでした。その時に、複数のメーカーから行政からは半年から1年にかかると言われて、大変困っている。どうにかしてくれって来られまして。担当官に会いに行き、「何を考えているの？ほんとに今やらないといけないのに！」って言ったら、1週間かからずにすぐ取れ、大変喜ばれました。これもやりましたね。

浅沼編集委員長：助成されましたね。

畦元先生：そう、660台ありました。あれは実は超音波もなんです。CTと超音波をやったのが自分です。あれは苦労しましたよ、当時、医師会に「病院のCTを使わず、専用のCTを使って撮影したらどうですか？」と提案しました。でも、医師会は反対したのです。その理由は、コロナ患者をCTで撮影すると、その後3時間は機械が使えなくなるという制約があったからです。これでは病院の検査数が減ってしまい、収益にも影響が出るという懸念がありました。

そこで私は、「じゃあ、コロナ専用のCTを導入しましょう！」と提案し、その実現に向けて動きました。厚生労働省や関係者のところに30回以上通い、何度も交渉しました。当時、



杉並区の石原伸晃先生と一緒に活動していて、先生も一生懸命協力してくれましたが、途中で辞められてしまいました。それでも、私たちの努力が実り、専用のCTを導入することができたのです。

まず東京医科歯科大学で採用され、そのコロナCT室は世界でも類を見ないほど徹底した感染防護対策が施されていました。その際、政調会長だった岸田前総理と一緒に現地を訪れ、その様子がニュースにもなりましたね。

そのほか、ポータブルX線装置やCT、超音波装置、そしてエクモ（ECMO）の導入にも取り組みました。エクモについては、全国でどれだけ必要なのか、予算はいくら必要なのかをまとめるため、江田会長と協力しました。当時、上川陽子先生から「金曜日に資料をまとめ、月曜日までに提出してほしい」と言われ、全国規模の情報を1日半で集めてまとめました。江田会長から多大な協力を得て、その資料を政調に提出し、大規模な予算を獲得することができました。

こうした連携のもと、必要な医療機器を導入し、コロナ対応を進めることができました。

江田会長：そうですか。そんな大きな仕事に関わっていたとは、全然分かりませんでした。

畦元先生：江田会長のおかげです。あの時はエクモを何とかしないとイケないっていうことでやりました。

江田会長：そうだったのですね。

浅沼編集委員長：そうですね、現場としてそういうニーズでした。

江田会長：確かにうちの病院でもエクモを早々に導入した記憶がございます。

畦元先生：ただ、入れるのはいいけど、エクモ扱える人が全然いなかったため、そこが大変でしたね。

江田会長：前職場もCEさんたちが困っていた記憶がございます。

畦元先生：ですよね、当時は。エクモをCEさん以外でも操作できる人はいないのかなども問題となっていました。

浅沼編集委員長：あの時は、もう何が優先かといったらとにかく人命でしたから…。やはり思い出すと、状況の見通しが分からず気持ちがくじけそうになった診療現場、お金じゃないですけど助成金を出していただき、国はわれわれのことは見ているという気持ちになりました。

江田会長：そこに5万円を20万円にしたというのも大きいですよ。それをやってくれたのが畦元先生だったという認識はやはり皆さん持っていたと思います。

私が先生から聞いたのは、最初に肺炎の有無を確認するために患者と接しながら検査を実施するのは診療放射線技師が行っているということ強く提言したという話を私は聞いた記憶がありますね。

畦元先生：何があっても、入院するとまず胸部写真を撮るじゃないですか、X線を絶対撮るじゃないですか。では胸部写真は誰が撮るんですかって聞いたら、最初、看護師って言うのでふざけるんじゃないと強く言った記憶がございます。あの頃は結構頑張っていましたね。

江田会長：そういう話を皆さんに認識していただけるとありがたいと思います。

浅沼編集委員長：本当ですね。もう感謝しきれないお話ですね。

診療放射線技師の今後の課題

畦元先生：診療放射線技師や臨床検査技師の先生方から、以前から「もっと報酬を増やしてほしい」という要望をいただいています。この件について、私も厚生労働省と議論を重ねてきました。例えば、私たち診療放射線技師が行うX線

撮影やCT、MRI検査には「技術料」がありますが、そのお金がどこに行くのかが問題です。厚労省によれば、「技術料は病院に支払われているが、その配分は病院事務局が決めている」ということです。

しかし、技術料は本来、その技術を提供した人に支払われるべきではないでしょうか？例えば、臨床検査技師が行う血液検査を考えてみても、医師がそれを代わりに行うことは現実的に実施していません。同じように、CTやMRIの操作は、99%の医師が対応できないと私は考えています。それにもかかわらず、技術料が技師ではなく病院全体に振り分けられてしまうのはおかしいと思うのです。

私は、技術料の配分を明確にし、実際に検査を行った技師たちに支払うべきだと考えています。この仕組みが整えば、病院側も技術料を得るために診療放射線技師や臨床検査技師を重視せざるを得なくなります。その結果、技師のポジションや待遇も自然と向上するはずです。

もちろん、単に「お金を増やしてほしい」という話にすると、議論がもめてしまう可能性があります。しかし、「これらの技術者がいないと医療が成り立たない」という事実を制度として明確にすることで、適切な評価が得られるはずです。実際に業務を担っている人に対して報酬が支払われるのは、当然のことではないでしょうか？

この方向で、私は今後も取り組んでいきたいと考えています。

浅沼編集委員長：責任を持って業務を行い、その責任の所在がしっかりされているのに、その成果に対する所在がはっきりしていないということですね。

畦元先生：はっきりさせるとわれわれのポジションも上がるし、当然給料も上がってくると思うのです。私は、これを再度、国会議員になって続けたいのです。これは絶対やらないといけないなと思っています。検査技師会も同じことを言っています。だって医師が代わりにやると言ってもできない。それだけのことをやっているのですから。

浅沼編集委員長：医者が読影に対して読影加算もらっているように、われわれも画像を撮影し作



成、装置を含めて管理をしています。

畦元先生：読影とか診断って言葉を使うとまたいろいろあるけれど、でも技術料だったら違うでしょう。医療技術でもいいのですが医療技術のプロフェッショナル、そのためのお金をもらう、そこを明確にするべきだと私は思います。

浅沼編集委員長：心強いです。

畦元先生：それはやらないといけないでしょう、絶対。当たり前のことだもの。

浅沼編集委員長：われわれの職能としても個人としても、その辺りが明確になるとやりがいが出てきますよね。

畦元先生：それは臨床衛生検査技師会の会長も同じことも言っていました。だからそこは行きたいと思っています。ちょっと先の話になってごめんなさい。

本年の抱負

浅沼編集委員長：最後に、本年の抱負で締めさせていただきます。お二方には職能団体の会長、前衆議院議員として、本年の抱負をぜひ伺いたいと思います。では畦元先生からよろしくお願いします。

畦元先生：最近、若い診療放射線技師の皆さんに、もっと知ってもらいたいが増えてきました。これから結婚を考える人や、すでに結婚している人にとって、「103万円の壁」や扶養、子育ての問題はとても大きな課題です。これまで私は診療放射線技師会の活動に専念してきましたが、こうした生活面のサポートについても

考える必要があると感じています。診療放射線技師も同じ人間ですから、これらの課題を放っておくわけにはいきません。

具体的には、子育て支援や婚活支援、「103万円の壁」を見直す取り組みが必要だと思います。特に医療職の場合、仕事が忙しく特殊な環境に置かれることが多いため、一般の職業以上のサポートが求められると考えています。例えば、医療関係者に対しては保育料の補助を手厚くしたり、「壁」の条件を緩和したりといった制度が必要です。医療人は、仕事の性質上、病気になるリスクも高く、子どもの保育や家庭生活に余分なコストがかかることも事実です。

そのため、医療職に特化した支援策を提案していきたいと考えています。こうした取り組みがあれば、若い人たちにとって大きな助けになるはずですよ。

浅沼編集委員長：確かに仰る通りだと思います。

畦元先生：ですから若い人たちがもっと勉強とかいろいろやりたいって言ったら、そういうことを考えていきたい。医療人にはもっと勉強してもらわないと困るじゃないですか。ほとんどの医療人は、土日で研修会に参加して、自腹を切っただけで勉強している人も多いですからね。

江田会長：そうですね、個々で貴重な時間を使って自己研鑽をされていますね。

畦元先生：ですよ。そこを考えて、お金をあげることはできないから、子育ての時代だけでも少し何かを考えるべきだと思うのです。それは若い人たちに対しての抱負です。

あともう一つは、アクチニウム、アスタチンなどを含めて、がん治療に関しては日本がトップを走ってほしい。ですからそれを何とかして

いきたいと思っています。

3つ目は、認知症の健康診断を何とか実施したいです。これはものすごく応援団がたくさんいるかなと私は思います。応援団と一緒に頑張って認知症について、再度、国政で提言していきたい。

以上の3つが私の今年の抱負です。ただ、それをやるとなると休みもないなと思っていますけど。

浅沼編集委員長：たくさんの抱負をありがとうございます。

畦元先生：今までなかったけど、若い技師の方々のことを考えたいなと本当に思ったのです。

江田会長：若い人たちにフォーカスするのはすごくいいのではないかと思います。

畦元先生：若い人たちが安心して勉強できて、診療放射線技師という仕事に対してプライドを持ってほしいじゃないですか。先ほど言った技術料が全部診療放射線技師に出たりして、なおかつお金の要る時、子育ての時には少し何らかの形で、医療人に対しては見方を変えていただきたいと思っています。

浅沼編集委員長：確かにそうですね。現場の若い方やこれから診療放射線技師を目指している方に、やりがいや希望がもてる社会になってほしいと思います。

江田会長：やはり、畦元先生には再度、国政で頑張っていただきたいですね。まずはその土壌に上げないといけないと思います。

畦元先生：以上が私の抱負です。

浅沼編集委員長：では、江田会長、よろしくお願ひします。

江田会長：私は、畦元先生との絡みの中で大きい関係性という、やはり連盟関係になります。本日お話いただいた内容を、全面的に連盟の中で活動できればいいと感じております。ただ技師会として考えるとところであれば、畦元先生はわれわれの一会員でありますので、会員として私たちに今までの体験談や今後の診療放射線技師の在り方などを講演していただく事も良いなと感じました。

技師会としての来年の抱負としては、皆さんと共に楽しみながら診療放射線技師会の事業を昨年以上に展開していきたいと思っています。ま





た、畦元先生の政策を成し遂げるためにも引き続き、応援していきたいと考えています。

浅沼編集委員長：ありがとうございました。

江田会長、畦元先生、本日は貴重なお話をありがとうございました。それではこれにて2025年新春座談会を終了させていただきます。本年もどうぞよろしくお願いします。

一同：ありがとうございました。



超音波画像研究会

第266回 エコーセミナー

超音波画像検査において疾患の鑑別に迷うことは多々あります。それには疾患を深く知り、多くの症例を経験すると同時に、所見について正しく理解していることも重要です。今回は睪臓に着目して、走査の基本から高頻度・レアな症例まで抑えておきたい検査のツボについて、金田先生にご講演いただきます。

日 時：2025年1月17日（金）19時00分（受付：18時30分より）

会 場：エムティ・エンド・エムティビー株式会社

（東京都新宿区西早稲田2-20-15 高田馬場アクセス12Fセミナールーム）

テ ー マ：『睪臓エコー検査のツボ ～基本走査から高頻度・レアな症例まで～』

講 師：東京都済生会中央病院 放射線科 金田 智 先生

参 加 費：1,000円／学生無料

※事前の申し込み、登録は不要です。直接、会場までお越しください。

お問い合わせ先：超音波画像研究会事務局 E-mail【us.image.workshop@gmail.com】

超音波画像研究会ホームページ：<http://us-image.kenkyuukai.jp/information/>

超音波画像研究会の開催情報をLINEでお知らせしています。

超音波画像研究会公式LINE登録QRコード



日本診療放射線技師連盟 2024 No. 11 ニュース (通巻No.103)

連盟活動報告

発行日 令和6年11月30日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒381-0812
埼玉県さいたま市北区宮原2-51-39
TEL.048-664-2728 FAX.03-6740-1913

- ① 10月31日(木)～11月3日(日)
第1回日本放射線医療技術学術大会にて連盟ブース設置
- ② 11月18日(月) 第4回 日技連／日放連 連盟定期連絡懇話会開催
日本臨床検査技師連盟(日技連)と日本診療放射線技師連盟(日放連)それぞれの活動状況報告が行われた。
- ③ 11月21日(木) 自民党 団体総局厚生関係団体委員会・厚生労働部会「予算・税制等に関する政策懇談会」に出席

政策要望資料 (技師会・連盟)



1. 「医療情報システムの安全管理と医療DXの推進に貢献する診療放射線技師の貢献」に対する評価要望
2. 「医療被ばく低減施設認定」取り組みへの評価要望
3. 「医療画像表示用ディスプレイの保守管理の施設基準への収載」と管理に関する診療放射線技師の評価要望
4. 「小児等への腹部骨盤部単純X線検査での生殖腺防護のための鉛シールド使用廃止における被ばく説明対応」の評価要望
5. 「在宅医療充実のための体制整備」における診療放射線技師への介護支援専門員受験資格付与」の要望

当連盟ならびに自民党党員の決算は2024年1月1日から12月31日となっております

- ① 睦元将吾先生後援の自民党入党は右下のQRコードから登録できます。
<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc6LOGAou4WExPnK6qa680kETqv8FyMrjKAAqOvk65t29ANqA/viewform>

- ② 当連盟入会ならびに年会費支払い

2021年第2回理事会において、年会費は一律 2,000円となりました。
また、寄付によるご支援も随時受け付けております。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金 口座番号:0667669 加入者名 日本診療放射線技師連盟



会員動向

2024年4月～11月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2023年度末集計	2,561	245	39	28	143
2024年 4月	2,594	27	14	5	3
2024年 5月	2,641	49	2	3	1
2024年 6月	2,674	34	0	1	0
2024年 7月	2,712	41	2	1	4
2024年 8月	2,746	39	0	2	3
2024年 9月	2,768	28	1	0	7
2024年10月	2,789	24	3	1	5
2024年11月	2,792	8	1	0	6

医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、これまで数多くの病院・医療機関より要請を承っております。
勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望にあわせて
お仕事をご紹介致します。
医療スタッフは、随時募集しております。ご友人、お知り合いの紹介も随時受け付
けております。

☆ まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご案内させていただきます。

☆ ご登録・ご相談は無料です。

☆ 健診や外来での撮影業務等、単発からございます。

☆ 受付時間 平 日 9:00 ～ 18:00

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 FAX:03-3869-5802

E-mail: info@jmb88.co.jp URL: https://www.jmb88.co.jp

一般労働者派遣事業許可: 派13-301371 有料職業紹介事業許可: 13-ユ-130023

News

1月号

日 時：2024年11月7日（木）
午後7時00分～午後8時55分

場 所：インターネット回線上

出席理事：江田哲男、野口幸作、関 真一、浅沼雅康、
鈴木雄一、木暮陽介、市川重司、石田雅彦、
高野修彰、市川篤志、竹安直行、江積孝之、
今尾 仁、鮎川幸司、関谷 薫、島田 諭、
布川嘉信、大津元春

出席監事：野田扇三郎、白木 尚

指名出席者：松田敏治（第4地区委員長）、北野りえ（第
5地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、
富丸佳一（第7地区委員長）、西郷洋子（第9
地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、
名古安伸（第11地区委員長）、吉村 良（第
12地区委員長）、長谷川浩章（第14地区委員
長）、池田麻依（第15地区委員長）、桐 洋
介（国際委員長）、笹沼和智（放射線相談委
員長）中尾 愛（入会促進委員長）、村山嘉
隆（総務委員）、青木 淳（総務委員）、新川
翔太（総務委員）

欠席理事：渡辺靖志

欠席監事：なし

議 長：江田哲男（会長）

司 会：関 真一（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

会長挨拶

2024年10月27日に行われた衆議院選挙について、畦
元将吾氏を最後までご支援いただきましたことを心より
感謝する。畦元先生は、未だ成し遂げていない政策を実
現するために新たな決意を持って歩み続けるということ
をお聞きしているので、皆さまにもご報告させていた
だく。引き続き、皆さまには畦元将吾氏へのご支援をお願
いする。先週末に沖縄で行われたJARTの学術大会に
参加した。木暮理事のもと東京都の定例会も盛大に行わ
れたことも報告させていただく。本日も多くの議題等が
あるが、皆さまには活発なご意見交換をしていただけれ
ばと思う。

理事会定数確認

出席：18名、欠席：1名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 江田哲男 会長

・活動報告書に追加なし。

2) 副会長

関 真一 副会長

・活動報告書に追加なし。

野口幸作 副会長

・活動報告書に追加なし。

浅沼雅康 副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木雄一 理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：木暮陽介 理事

・活動報告書に追加なし。

教育：市川重司 理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) 中間監査報告

白木 尚 監事：

監査の方法および内容については報告書の記載の
通り。

昨年の東京都立入検査の際に5項目指摘事項があ
り、その対応についてどのようになっているか取り組

み状況を確認したところ、とても適切に対応されていた。各委員会の事業計画と上半期の報告書を照らし合わせて概ね計画通りに進んでいることを確認した。計画に対しての差異があった場合、コメントに残していただけると期末監査の際に大変確認しやすくなる。

野田扇三郎 監事：

重要なことは現金預金等の管理がしっかりされているかどうか、計算書類およびその明細書の内容、その他財産目録は法人の財産および損益の状況を、全ての重要な点において適正であることを認める。

8) その他

高野修彰 渉外委員長：

11月3日に令和6年秋の叙勲で篠原顧問が瑞宝双光章を受章されたことを報告する。

議 事

1) 会費減額に関する時限規程の期限終了に伴い今後の会費見直しについて

石田雅彦 経理委員長：

会費データの推移(前回示した第7回理事会の資料に挙げている収支)について、過去6年間のデータを比較すると経常収支は概ねプラスが維持されている。2023年度は新入会(減額対象者)が245人いたため、正会員数受取会費減少もあり経費の収支より経常の費用が上回っている。本年度については、昨年のデータと比較したものになるが、2024年度7月時点では会員数は2,712人となっており、正会員受取会費は昨年度の同時期と比較すると+946,000円となっている。経常収益累計の比較も昨年度より上回っている状況で経常費用累計を差し引いた経常収支累計も毎月昨年度よりプラスを維持している。今後、会員数の維持・増加、適切な経費使用を維持することで収支は昨年度よりプラスが保たれると予想される。

江田哲男 会長：

会費に関しては二年間という時限的な形で会費の減額を図っているが本年度で終了になるので三つの提案という形で提示した。1つは会費減額終了とともに定款通りの会費に戻す。2つ目は会費減額を含めて見直す。3つ目は時限的会費減額を延長する。この三つについて提案した。

大津元春 第8地区委員長：

時限規程を延長もしくは会費の見直し、会員数に合わせて会費を見直すということが大事だという意

見が挙がり、元に戻す案はなかった。基本的には会員数がある基準の人数になれば会費を下げることや、会員数が減ったら上げるかを見極めて何年かおきに会費を見直していければよいと思う。

名古屋安伸 第11地区委員長：

このまま減額を継続していただきたい。ただし減額による逼迫が無いかを心配している。問題がなければ減額を続けていただきたい。サテライトの事務所の積立も考えて逼迫はないか心配している。

江田哲男 会長：

第8地区から頂いた質問の中で会員の数によって会費の見直しをやる意見について、他県の活動とわれわれの活動は大幅に違い、われわれのところで大きいウエイトをおいているのは会誌で年11回リリースしている。これが他県と比べ情報の通達や情報の共有というところで活発に動いているためこの価格になっている。大幅に値段を変えるという形で考えるのであれば事業の見直しも含めて考えなければいけない。今は事業をこのまま継続した中で見直しをするのが一つのやり方と思っており、執行部の方で提案させていただいているのは3つ目の時限的会費減額を延長するという内容である。この延長するという内容の理由については二つある。一つに関してはこの二年間はコロナの影響によって活発な事業活動ができなかった。そういった中で収支についても本当に厳格な状況で大丈夫かどうかはまだ明確ではなく、今年度に入ってからコロナが明けて事業活動が活発的に動き出したのとWeb会議を多く活動しており、例えばあの二年間様子を見て収支の状況を考察して決めていければと考えているのが1つの理由である。2つ目は当初の目的であった会員数3,000名が達成できていない。ただ2年前と比較すると若干であるが200名ほど増加している。2年前は約2,600名だったが先月は約2,700名、10月末は約2,800名になっている。皆さまのおかげでもあり、入会促進委員会が誠意をもって活動していると感じている。こうして増員している形になり、3,000名にも達成するところもあるので、この二つから執行部としては時限的会費の減額を延長する案を提案したい。会費の計画について、石田理事の方から提出された通り収支のところでは大丈夫だが、大幅に黒字でなく今後の活動の仕方によっては赤字になる可能性もある。また今後入会も増えて黒字になる可能性もある中でまだ明確にならないところもあるので二年間

据え置きたいことと会費は安易に上下させたくない。
避けたことによって事業活動が閉塞してほしくない
のでご承知いただきたい。

鯉川幸司 第13地区委員長：

目標とする3,000名に達してないっていう現状があるのでその目標の人数に達するまでは減額措置を延長していただきたいという意見があった。入会促進等で入会が増えているのは告示研修を受ける必要があるという現実もある。告示研修が終わった後に辞めってしまう恐れもあるのではないかという意見もあり、会費減額措置を二年と縛らずに目標人数に達するまでは継続していただきたい。

中尾 愛 入会促進委員長：

3,000名という目標値はどこから出てきたのかと何名に達したら黒字になるか、黒字の時には会費が安くなっていく方向性になるのか、東京都診療放射線技師会は他県と比べて会誌に力をいれていることだが他にも何か力を入れているものがあれば教えていただきたい。

江田哲男 会長：

東京都の事業活動に関しては総会で報告させていただいた通りで会員数に対する会費は非常に難しく、その年度の活動によって変わるのでアバウトな数字の評価という形にならざるを得ない。初年度無料と会費免除できちんとした分析作業で、現状だとすぐには数値化するところは非常に難しい状況である。そういった中でもこの二年間コロナが開けたところを見て行きたいと考えている。

野口幸作 副会長：

3,000名の話は会費減額するために理事会決議で目標設定したのが3,000名で目標にしている。会員数でいくら減額できるかという議論に関しては会員が増えれば発送量、活動、活動活性化資金の部分と初年度は無料という状況を踏まえて二年度以降を数値として表すことは難しい状況で、時限規程を伸ばして傾向を見ていくことを提案させていただきたい。

関 真一 副会長：

組織率を50%にしようということで3,000名に目標を立てている。

江田哲男 会長：

皆さまのおかげで始まった時は40%未満で都道府県の中では下から二番目か三番目だったが10月末の時点で44%の上台に乗っている。告示研修も活発に

東京都が行っている。入会促進委員が真剣に考えていると実感としている。50%に向けて継続している。

浅沼雅康 副会長：

会誌の発行回数もそうであるが、他県に比べて日暮里塾ワンコインセミナーや地区支部の研修会などのイベント開催回数も多い。モダリティーが多い中で、自分に合ったものを見つけるチャンスが東京都には多いと思っている。

江田哲男 会長：

地区の方には理事会の資料配信を見ていただくと東京都開催の件数が多く行っていると感じていただきたい。

布川嘉信 第3地区委員長：

減額に関して賛成をしている。特に新人スタッフが多く入ってくれた効果が早くよく出ているところで賛成をしている。いろんな事業をされている中で減額できる要素は持って行動した方がよいという意見が出ているので会員の方に還元できることは継続してほしいので引き続きよろしくお願いしたい。

大津元春 第8地区委員長：

他県の人たちを呼び込みたいので一度会費を下げて神奈川、埼玉、千葉の技師を呼び込んでニーズを増やしていければと思う。

江田哲男 会長：

個人的な感覚としてはお金で引き込むのではなくTARTというブランディングを高めたい。お金が高くても東京都の魅力あるブランド力のある会にできたらと思う。入会だけではなく退会に導かないような魅力ある組織づくり、魅力あるセミナーも一つの手だと思う。

伊佐理嘉 第6地区委員長：

告示研修は東京都の会員の方が少し優先的に受けられるような提案とかはどうか。

野口幸作 副会長：

JARTのシステムで申し込みをやるので今後も変わらないと思っている。研修会をやるスタッフも大きな負担になる。東京の会員のみだけで受けられないかという意見も聞いているができないという状況と他県から来てもらい、講習会が成り立つ方がよいという話も聞いているのでご理解していただきたい。

伊佐理嘉 第6地区委員長：

システムの問題というのは確かに理解した。

関 真一 副会長：

次年度から2年間の時限的会費減額を延長することを提案させていただきたい。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

関 真一 副会長：

会費に関する規程と会費減額に関する時限規程の改正については、定款諸規程等検討委員会で検討して後日の理事会でご提案させていただく。日程としては年度内に臨時総会を開催することになり代議員の皆さまには2週間前までに開催通知と資料が郵送またはメールで送ることになるので、地区委員長の皆さまには代議員の皆さまにお伝えいただきたい。

鈴木雄一 総務委員長：

臨時総会の日時は翌年度の会費請求を3月にさせていただく都合から2月中旬でウインターセミナーと城南支部以外のところで臨時総会を開催する。また理事会の決議で臨時総会を開く決議をとるので来月には具体的な日時が決まる。

2) 事業申請について

①2024年度 第13地区研修会

テーマ：救急領域における画像ワークステーションと考え方 - 使えるものは何でも使う -

日 時：2025年1月24日(金) 19:00～20:00

場 所：Web開催(東放技Zoom)

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

②2024年度 城南支部研修会

テーマ：プロフェッショナルに聞く

【明日から使いたいCT/MRI撮像の工夫】

日 時：2025年2月1日(土) 15:00～17:30

場 所：東邦大学医療センター大森病院 臨床講堂

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

③第156回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：基本を振り返る - DICOM って？ -

日 時：2025年2月13日(木) 19:00～20:30

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

④第22回ウインターセミナー

テーマ：発見した場合に報告すべき症例

画像ノミカタシリーズ - 腹部編 -

日 時：2025年2月15日(土) 14:00～17:00

場 所：JR東京総合病院 e棟4階会議室

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

⑤2024年度 第16地区研修会

テーマ：診療放射線技師に必要な医学知識

- 学校では習わない診察概論 -

日 時：2025年2月21日(金) 19:00～20:30

場 所：Web開催

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

⑥2024年度 多摩支部研修会

テーマ：薬剤師に聞く！ 薬剤業務と画像診断の関り

日 時：2025年2月27日(木) 19:00～20:00

場 所：Web開催 (Microsoft teams)

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

⑦2024年度 第2地区研修会

テーマ：変形可能！最新乳房ファントム

『Comp-AY型(Compressible Mammography Phantom)』の紹介

日 時：2025年2月28日(金) 19:00～20:00

場 所：Web開催

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

⑧2024年度 城西支部研修会

テーマ：診療放射線技師として必要な検査データの判読法
- 画像診断に必要な臨床検査データを読み解く -

日 時：2025年3月7日(金) 19:00～20:30

場 所：Web開催

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

⑨2024年度 第8地区研修会

テーマ：放射線生物学・放射線被ばく等に関する講義
あなたが定めた照射野のその先で

日 時：2025年3月7日(金) 19:00～20:30

場 所：東邦大学医療センター大森病院 臨床講堂

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

※⑧と日程重複のため、日程調整を行う

3) 新入退会について

9月：新入会24名、転入3名、転入1名、退会5名
上記について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第1地区：

ペイシェントケア学術大会のスライド提出の締め切りはいつか。

市川篤志 学術委員長：

演者には提出期限等の締め切りは既に通知している。

高野修彰 渉外委員長：

この質問の後に市川学術委員長よりご連絡をいただいております、質問者も了解を得ています。

第4地区：

地区活性化資金について

もとはハガキ代など郵送費を基に算出されていたと思うが、切手代も上がっており、増額や算出の仕方など変更の動きはあるか？ 現在はメールなどで代用可能で、現状とは異なると思うが、算出方法は変わっているのか？

ハガキなどで広報を多用している地区などは、今までのような数を出せないことにもなるのではないかと危惧している。

石田雅彦 経理委員長：

地区活性化資金は、前年度9月末日時点の地区会員数を基に算出している。使用目的は研修会や広報活動、運搬費や消耗品等の事業活動に応じた金額となっている。昨年度の時点で、郵送での広報を行っている地区はごく僅かであり、メールを活用している地区が大半であった。多くの事業が見込まれる場合は、事前にご相談をお願いしたい。したがって、ハガキ代では算出していない。

第6地区：

会員数は現在増加しているが、告示研修の影響があり取得後には退会する方が増えると考ええる。引き続き会員としてTARTに残っていただく為に各認定機構のポイントを取得する研修会の開催や認定技師取得のための研修会を開催する事を検討してはいかかがか。

鯉川幸司 第13地区委員長：

各認定機構のポイントは、勉強会自体が認定機構に申請し、認可されて初めてポイントが付与される。毎年1回しか開催されないような地区研修会では、認可されるのは困難だと考える。

市川重司 教育委員長：

ペイシェントケア学術大会は、以前に認定機構に申請をしたことがあった。しかし、各認定機構に申請をするのは非常に煩雑である。前向きに考えているので、今後も継続的に審議する必要がある。

市川篤志 学術委員長：

東京都診療放射線技師会の研修会でも毎回申請が必要なのか。

野口幸作 副会長：

毎回申請が必要である。

木暮陽介 庶務委員長：

救急撮影認定機構は一度申請すれば全ての研修会がポイント付与の対象となる。CT認定は、日本診療放射線技師会および日本放射線技術学会主催の場合は全てポイント付与の対象となる。しかし、地方会では毎回申請が必要となる。

野口 幸作 副会長：

治療関係も日本診療放射線技師会および日本放射線技術学会主催の場合はポイント付与の対象となるが、毎年1回の研修会では承認されない可能性が高い。

鈴木雄一 総務委員長：

MRI認定機構は幅広い分野を扱っている団体の承認は難しいのではないかと考える。

第11地区：

- ・会費については、令和7年度以降も減額をお願いしたいと思うが、現在の運営状況について教えていただきたい(2023、2024年度の減額による逼迫は無いのか)
- ・建築資材や住宅設備の価格の上昇が続くなか、2022年3月に示された新規サテライト事務所の設置計画等について、今後の見通しについてご見解があれば教えていただきたい。

江田哲男 会長：

余剰金の使用目的については、新規サテライト事務所の設置計画も含めて今後も議論を進めていく。

第14地区：

会場参加型の研修会が増えて参加費を徴収するようになってきている現状を踏まえて、研修会事業の参加費についても、時限的・限定的(例えば地区研修会・支部研修会に限定する等)でもよいので可能な範囲で減額を検討してみはどうだろうか。

市川重司 教育委員長：

例えばワンコインセミナーは現在500円という低額で行っているの、減額は厳しいと考える。以前と比較すると非常に安い金額で開催しているので、現時点で減額は検討していない。

市川篤志 学術委員長：

きめこまやかな生涯教育等の研修会も低額で開催しており、現時点で減額は検討していない。

長谷川浩章 第14地区委員長：

今回の提案は学術および教育委員会に限った話ではなく、地区研修会や支部研修会も含めた提案である。Web開催の研修会は無料だが、会場開催の研修会では参加費を徴収している。今後も包括的に議論し

ていただければ幸いです。

連絡事項

竹安直行 情報委員長：

会誌やホームページ等の掲載の際には、フォーマットが統一されているので決まった書式で提出していただきたい。バラバラのフォーマットで申請される方が多数見受けられる。ご協力をお願いしたい。

浅沼雅康 副会長：

個人のメールアドレスで編集委員会や情報委員会に送付してくる方がいるが、各支部、各地区でアドレスを付与しているのでそちらを使用していただきたい。セキュリティ上、個人のメールアドレスは問題となる。

木暮陽介 庶務委員長：

公文書発行に関して、エクセルのファイル形式だけでなく、ワードファイルも作成して送付していただきたい。作業が煩雑となるため、ご協力をお願いしたい。また、先月の理事会で承認された役員変更に関して、委嘱状を作成したので各委員長に順次発送を行う。職場名が変更された方は、委嘱状の変更は必要か。

北野りえ 第5地区委員長：

委嘱状の変更は必要ない。

高野修彰 渉外委員長：

来年の定期総会での表彰に関して、各地区委員会で小野賞および功労賞の選出をお願いしたい。締め切りは来年1月末日とする。

江積孝之 広報委員長：

広報委員会のイベントに関して、東村山市で市民健康のつどいが今週開催される。皆さま奮ってのご参加をお願いしたい。

市川篤志 学術委員長：

ペイシェントケア学術大会の冊子の広告に関して、現時点でメーカーの広告が非常に少ない。皆さまのご施設でメーカーの営業担当者にお声掛けをお願いしたい。もし承諾が得られた場合は、ご連絡をいただきたい。

今尾 仁 厚生調査委員長：

11月より例年のアンケート調査が開始しており、各地区で回答へのご協力をお願いしたい。

江田哲男 会長

来年初旬に箱根等で役員研修会を予定している。詳細が決定次第ご連絡する。

今後の予定について（総務委員会）

鈴木雄一 総務委員長：

事業予定表の通りである。

以上

学術講演会・研修会等の開催予定

日時や会場等の詳細につきましては、会誌及びホームページでご案内しますので必ず確認してください。

2024年度

1. 学術研修会

☆第22回ウインターセミナー 2025年2月15日(土)

2. 生涯教育

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第155回日暮里塾ワンコインセミナー 2025年1月23日(木)

第156回日暮里塾ワンコインセミナー 2025年2月13日(木)

第157回日暮里塾ワンコインセミナー 2025年2月14日(金)

第158回日暮里塾ワンコインセミナー 2025年3月15日(土)

4. 集中講習会

第13回MRI集中講習会 2025年3月2日(日)

☆5. 支部研修会

城東支部研修会 2025年1月16日(木)

城南支部研修会 2025年2月1日(土)

多摩支部研修会 2025年2月27日(木)

城西支部研修会 2025年3月7日(金)

6. 地区研修会

第13地区研修会 2025年1月24日(金)

第6地区研修会 2025年2月7日(金)

第4地区研修会 2025年2月4日(火)

第12地区研修会 2025年2月20日(木)

第16地区研修会 2025年2月21日(金)

第9地区研修会 2025年2月26日(水)

第2地区研修会 2025年2月28日(金)

第15地区研修会 2025年3月3日(月)

第8地区研修会 2025年3月13日(木)

第11地区研修会 2025年3月14日(金)

7. 第19回ペイシェントケア学術大会 2025年1月25日(土)

8. 専門部委員会研修会

災害対策研修会 2025年2月11日(火)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回		
開催日	年 月 日() ~ 月 日()		
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック		
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県		
ふりがな			
氏 名			
性 別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []		
	TEL (必須)		
	FAX		
	メール (PCアドレス)		
備 考			

FAX 03-3806-7724

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿
公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会 員 番 号	
氏 名	印
氏名（カタカナ）	
性 別	男性 ・ 女性
生 年 月 日	昭和 ・ 平成 年 月 日生
メールアドレス	

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

□氏名の変更

改姓（変更後の氏名）	
------------	--

□送付先変更

現在の送付先	勤務先 ・ 自宅
新 送 付 先	勤務先 ・ 自宅

□住所等の変更

新 勤 務 先	勤 務 先 名	部署
	勤務先所在地	〒 ー
	電 話	
旧 勤 務 先		
新 自 宅	現 住 所	〒 ー
	電 話	
旧 自 宅 住 所		

□その他

通 信 欄	
-------	--

受 付 年 月 日
確 認 年 月 日 印

Postscript

あけましておめでとうございます！
今年も東京放射線をよろしくお
願い致します！

速く走りたい……否、あの頃に戻りたい。

前号のB.F.Sさんの編集後記、「40
歳を超えると諸々の衰えが云々」を
読んで、思わずフフッと笑ってしま
いました。「おじさんはまだまだこれ
からが本番だよ（*´艸｀）」と、な
んだか悲しい先輩風を吹かせつつ、
ほっこりしました。でも、自分の衰
えを認めるのは、やはり受け入れが
たいものですね。

現役のトレーニング、しかし……

まだまだ現役でトレーニングを続け
ていますが、怪我をして復帰するた
びに足が遅くなっているのを実感し
ます。よく言われる「身体の動作が
イメージと合致しない」という感覚
を、私は30代中ごろで覚えました。
最近ではさらに、颯爽と走る自分
のイメージすらぼんやりしていて、「あ
れ？ どうやって走ってたっけ？」と
模索しながら走る始末です。

老いに気づけるありがたさ

老いとは受け入れがたいものですが、
それに気づけるだけありがたいこと
だと思います。高齢化が進む世の中
を見渡すと、いずれは老いに気づく

ことすら難しくなるのかもしれない
……なんて考えると、ちょっと怖いで
すよね。でも、それが人生の終盤を
楽しむ秘訣であり、人間に備わった
機能なのかもしれない、そう思えば
なんとか受け入れられる気がします。

“花鳥風月”に思いを馳せて

「花鳥風月」という四字熟語をご存
じでしょうか。本来は「美しい自然
の風景」を指しますが、老いの段階
を表す言葉としても使われるそうで
す。例えば：花を愛でようになると
老化の始まり、月を愛でようにな
ると死期が近いなど。幸い、まだ
私は「花を綺麗」と思わないので、
老化のお迎えは来ていないはず！ そ
う信じて、これからも一生懸命、頭
に“？”を浮かべながら走り続けよう
と思います。

老いに逆らう……

あれ？ これってもしかして、若者の
言う“老害”の始まりだったりして？
（笑）

最後に新年早々、景気の良くない
話で失礼しました。それでも今年も
「Enjoyingおじさん」で頑張ります！

筋肉すぐる

■ 広告掲載社

富士フイルムメディカル(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
(株)ジャパン・メディカル・ブランチ
日本メジフィジックス(株)
長瀬ランダウア(株)
シーメンスヘルスケア(株)

東京放射線 第72巻 第1号

令和6年12月25日 印刷（毎月1回1日発行）

令和7年1月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会
会長 江田 哲 男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜～金曜 8時30分～16時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません
TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一

Canon

ノイズ低減処理技術

Intelligent NR

DEEP LEARNING

ノイズ低減はここまで綺麗に。
キヤノンが創出する次世代スタンダード。

X線画像に含まれるノイズの除去方法を学習。ディープラーニング技術により深層畳み込みニューラルネットワークを生成し、CXDI*が持つ高い分解能を維持しながら低線量領域での高いノイズ低減効果を発揮します。従来のノイズ低減処理からノイズ量を最大50%低減し、大幅な粒状性の改善を実現しました。

CXDI-Elite
DIGITAL RADIOGRAPHY



*本システムはノイズ低減処理の設計段階でディープラーニング技術を用いており、本システム自体に自己学習機能は有していません。
*Intelligent NRはキヤノンのデジタルラジオグラフィCXDIシリーズのノイズ低減処理技術です。

【一般名称】 X線平面検出器出力読取型デジタルラジオグラフィ
【販売名】 デジタルラジオグラフィ CXDI-Elite
【認証番号】 304ABBZX00003000
【製造販売元】 キヤノン株式会社

L000279

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

新型ハイブリッドサーベイメータ RaySafe 452

FLUKE®
Biomedical



半導体とGM管を組み合わせ、
1台で様々な測定用途に対応可能！

As versatile as you are

FLUKE®
Biomedical

LANDAUER®

RaySafe®

VICTOREEN

【お問い合わせ】  長瀬ランダウア株式会社 営業部

TEL: 029-839-3322 FAX: 029-836-8441
mail@nagase-landauer.co.jp
<https://www.nagase-landauer.co.jp/>



【製品情報】 フルークバイオメディカル

<https://www.flukebiomedical.com/products/radiation-measurement/radiation-safety>

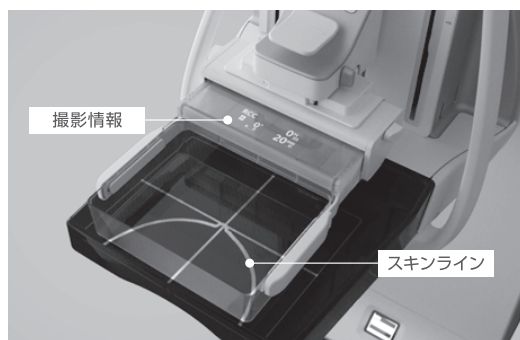


FUJIFILM
Value from InnovationWomen's Health ソリューションブランド
INNOMUSENEW
デジタルマンモグラフィ**AMULET SOPHINITY****“ヒューマン・ファースト” を磨きあげた新しいマンモグラフィのかたち。****プロジェクション機能**

(オプション)

過去の撮影情報からポジショニングをサポート

過去画像から抽出したスキンラインと乳頭位置を撮影台面上に投影し過去と比較しやすい画像の撮影が可能。左右の乳房を比較するため、左右反対側の画像を反転し撮影台面上に投影することもできます。

**トモシンセシス**

(オプション)

2つのモードで幅広い臨床に適用**ST (Standard) mode**振り角: $\pm 7.5^\circ$ Shot数: 19 解像度: $100\mu\text{m}$

撮影角度を小さく抑え、画像読み出しを速くすることで、高速撮影を実現したモード。被写界深度が深く、シネ表示で効率的に断層像を確認できます。

検診 / スクリーニング / フォローアップなど

**HR (High Resolution) mode**振り角: $\pm 20^\circ$ Shot数: 35 解像度: $100\mu\text{m}$

振り角を大きくし、深さ方向の分解能を向上したモード。被写界深度が浅いので注目したい部分にフォーカスを合わせられます。

精査の追加撮影 / 形態把握 など



AMULET SOPHINITY 販売名: デジタル式乳房用X線診断装置 FDR MS-4000 (AMULET SOPHINITY型) 認証番号: 第 304ABBZX00020000号
製造販売業者: 富士フイルム株式会社 販売業者: 富士フイルムメディカルシステム株式会社

富士フイルム メディカル株式会社 〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フイルム西麻布ビル Tel.03-6419-8075 <https://fujifilm.com/fms/>〒二六〇〇三 荒川区西日暮里二二二一五〇五
発行所 公益社団法人 東京都診療放射線技師会
TEL・FAX (〇三) 三八〇六七七二四

印刷所

東京都墨田区立川二一七一七
株式会社 キタジマ

定価

金四二〇円(税込)